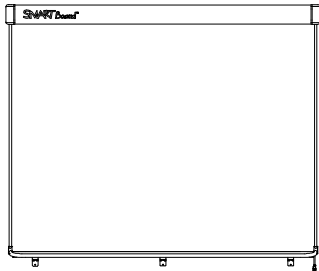


印刷前にご確認ください



SMART Board™ V280 インタラクティブ ホワイトボード

設置および
ユーザーズマニュアル

Extraordinary made simple™

SMART™

製品登録

SMART製品をご登録いただくと、当社から新機能およびソフトウェアアップグレードについてお知らせします。

www.smarttech.com/registration でオンライン登録を行ってください。

SMART 技術サポートにお問合せいただく場合には、
前もって以下の情報をご準備ください。

シリアル番号 : _____

購入日付 _____

FCC の警告事項

この機器は、検査を行い、Part 15 of FCC 規則 Part 15 で定められた Class A デジタル機器の限界に準拠することが確かめられています。これらの限界は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対する妥当な保護機能を提供するように設計されています。この装置は、無線周波数を生成・使用・放射するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。この装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザーご負担による改修等の対策が必要になります。

商標表示

SMART Board、DVIT、AirLiner、SMART Bridgit、smarttech および SMART ロゴは、SMART Technologies ULC の米国およびその他の国における商標です。Windows、Microsoft、Excel、PowerPoint、Windows Media、Visio および OneNote は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Kensington は、Kensington Computer Products Group (KTG) の商標です。Adobe、Acrobat、および Flash は米国および / またはその他の国の Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。Phillips は、Phillips Screw Company の登録商標です。Sanford and Expo は、SANFORD またはその系列会社の米国商標登録です。他のサードパーティ製品名や会社名は、それぞれ各社の商標である場合があります。

著作権表示

© 2008–2010 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULC の事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologies が変更を約束するものではありません。

この製品に同梱のこのソフトウェアの一部は、Intel Corporation が著作権を有しています。

この製品に同梱のこのソフトウェアの一部は、Vadem の事業部門である ParaGraph が著作権を有しています。

特許番号 : US5448263; US6141000; US6320597; US6326954; US6337681; US6540366; US6741267; US6747636; US6803906; US6919880; US6947032; US6954197; US7151533; US7184030; US7236162; US7283126; US7289113; US7499033; CA2058219; CA2252302; EP1297488; DE60124549; CN1310126; ES2279823; ZL0181236.0.
その他特許申請中。

02/2010

注意事項

SMART Board™ V280 インタラクティブホワイトボードのインストールおよび使用に先立ち、本ユーザーズマニュアルおよび同梱されている重要な情報に記載された安全上の警告と注意事項を読み、十分に理解してください。この安全上の警告と注意事項では、SMART Board インタラクティブホワイトボードおよびアクセサリの安全かつ正しい操作について説明します。作業者のケガや製品の損傷の防止にお役立てください。

注記

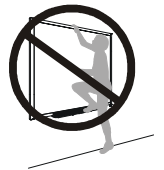
本書で使用する用語「インタラクティブホワイトボード」は、インタラクティブホワイトボード、アクセサリ、オプションを指します。

安全上の警告と注意事項

警告

- インタラクティブホワイトボードに同梱されている設置指示書または本書の記載に従わない場合、作業者のケガや製品の損傷につながります。
- プロジェクターメーカー発行の安全上の警告と注意事項、さらに、その他の重要な情報をお読みください。プロジェクターのビーム光線を直視する（特に子供が直視する）ことがないようにしてください。通常の操作において高温になるため、プロジェクターに触る（特に子供が触る）ことがないようにしてください。
- 壁面またはフロアスタンドにインタラクティブホワイトボードを設置する作業は、大き過ぎて 1 人では安全を確保できないため 2 人で実施してください。インタラクティブホワイトボードを持ち上げるときには、作業者がスクリーンの両側に立ち、片手で下側隅を支えながら、片手で上側のバランスを取ります。
- 電源や接続用のケーブルは、不適切な配置のまま放置されると、足に引っ掛けるなど思わぬ事故、損傷や故障の原因になりますので、配置には十分にご注意ください。床にケーブルを配線する場合は、ケーブルを平らにたるまないように置き、目立つ色のテープまたはケーブルストリップでケーブルを床に固定してください。ケーブルは注意深く取り扱い、引っばったり、曲げすぎないようにしてください。

- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、FS670 または FS570 フロアスタンドには設置しないでください。これらのフロアスタンドは、インタラクティブホワイトボードの安定を正しく確保するための正式な固定機構を備えていません。これらのスタンドを使用すると作業者のケガや製品の損傷に至る場合があります。
- フロアスタンドに取り付けた SMART Board インタラクティブホワイトボードは、注意して移動してください。急に停止したり、過大な力を加えたり、水平でない場所に置くと、製品が倒れる危険があります。
- SMART 製品のスクリーンにタッチするために椅子に乗らないでください。特にお子様にはご注意ください。椅子などを使用する必要がないように、適切な高さに製品を取り付け直すか、あるいは、高さ調整可能なフロアスタンド FSV280 をご使用ください。
- 壁面またはスタンドに取り付けた SMART Board インタラクティブホワイトボードには、よじ登る (特に子供) ことがないようにしてください。インタラクティブホワイトボードまたはプロジェクター・ブームに体重をかけると、思わぬケガや製品の損傷につながる場合があります。



注意

- 寒暖の激しい場所に SMART 製品を置かないでください。SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの動作温度は、41°F ~ 95°F (5°C ~ 35°C)、湿度 80% 以下です。結露のない場所でご使用ください。輸送および保管温度は、-40°F ~ 120°F (-40°C ~ 50°C) です。
- インタラクティブホワイトボードを壁に立てかけてはいけません。インタラクティブホワイトボードのフレームおよびペントレイブラケットは、製品重量を長時間支えることを想定していません。必ず、十分に注意しながら、きれいで平らな面に表側を下にして置くようにしてください。
- 設置の安全性を確保し、さらにインタラクティブホワイトボードの壁からの落下を防止するために、必ずアクセサリの壁アンカーとネジを使用してインタラクティブホワイトボードを壁に固定してください。
- 組み立てる場合には、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに同梱されているネジのみをご使用ください。アクセサリ以外のネジを使用した場合、製品の損傷の原因になります。
- インタラクティブホワイトボードの DViT™ (デジタルビジョンタッチ) カメラの保護キャップが壊れますので、インタラクティブホワイトボードのトップが壁に触れないようにしてください。
- 壁面に取り付けたインタラクティブホワイトボードまたはペントレイには、過剰な重さや過度な圧力をかけないでください。壁取り付けブラケットは、インタラクティブホワイトボードの通常の使用時の重量を想定しています。

- SMART Board インタラクティブホワイトボードの安全な操作と損傷防止の目的から、必ず、インタラクティブホワイトボードに同梱されている高速 USB 2.0 ケーブルのみを使用し、高速 USB 2.0 準拠のポートを備え、USB マークの付いたパソコンに接続してください。さらに、USB 電源パソコンは、CSA/UL/EN 60950 に準拠しており、CE マークと CAS/UL 60950 用の CSA/UL マークが付いていなければなりません。
- パソコンは、標準型プロジェクターを装備した SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを使用する場合、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの仕様 (www.smarttech.com/support の文書 121618) で指定された処理能力が必要になります。AirLiner® ワイヤレススレート、SMART Response インタラクティブ・レスポンス・システム、SMART ドキュメントカメラなどの周辺機器を追加する場合には、パソコンの処理能力の大幅な増強が必要になります。なお、SMART は、処理能力不足が原因で生じた如何なる損害または損失に対しても、その責任を負うことはありません。
- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、速乾性の製品ではありません。速乾性マーカーまたは油性ペンは使用しないでください。
- インタラクティブホワイトボードには、強い化学薬品や研磨式の洗剤を使用しないでください。

その他の注意事項

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード以外に SMART 製品を所有している場合には、関連の警告およびメンテナンス指示について製品の設置指示書をご参照ください。

操作の安全性を保証し、製品の破損を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。

- インタラクティブホワイトボードの設置には、ほこり、湿度、煙などが特に多い場所を避けてください。
- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードをインストールする前に、USB ケーブルを接続したことを確認してください。
- 省電力バッテリーモードで動作するラップトップパソコンは、必ずしもインタラクティブホワイトボードの操作に適した電源とは言えません。ラップトップパソコンを AC 電源プラグに接続の上、インタラクティブホワイトボードを操作してください。
- パソコンにウェブカムを接続した場合、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの確実な操作を妨げることがある点にご注意ください。

- SMART Active USB などの延長ケーブルをバス電源ハブを使用した場合には、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに外部電源（製品には含まれていません）を接続してください。外部電源（必要時）は、CSA/UL/IEC/EN 60950-1 の有限電源 (Limited Power Source: LPS) 要件を満たさなければなりません。
- インタラクティブホワイトボードをクリーニングする前には、接続中のパソコンをシャットダウンするか、あるいは、接続を外してください。
- SMART Board インタラクティブホワイトボードに部品の交換が必要な場合は、サービス技術者が SMART Technologies の指定する交換部品を使用することを確認してください。
- Kensington® ロックは、施錠が破られる場合があるため、完全な保護手段ではないことにご留意ください。しかし、無理に取り外した場合、ケンジントンロックの穴が壊れるため、盗品か否かの判別が容易で、製品の転売を難しくします。

目次

注意事項	i
安全上の警告と注意事項	i
その他の注意事項	iii
SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの紹介	1
はじめに	2
特徴	2
SMART Board インタラクティブホワイトボードにはどのような機能があるのか？	3
パソコンの最低要件	4
納品された SMART Board の輸送箱に入っているもの	4
一般交換部品	7
その他のアクセサリ	7
SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの設置および安全対策	9
環境条件	10
SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの設置	11
ケンジントンロックを使用したインタラクティブホワイトボードの安全対策	19
インタラクティブホワイトボードをパソコンに接続する	21
概要	22
USB ケーブルを接続する	22
パソコン設定を変更する	24
SMART 製品ドライバをインストールする	25
インタラクティブホワイトボードの向きを調整する	26
インタラクティブホワイトボードペンをマウスとして使用する	28

SMART Notebook ソフトウェアについて	29
SMART Notebook ソフトウェアの インストール	30
フローティングツール ツールバーを使用する、クリック、書き込み、消去 などの操作	32
SMART Notebook を使用して、メモをキャプチャし、プレゼンテーション を作成する	36
ビデオの録画および再生、アプリケーションの表示、プレゼンテーションの 強化	39
ソフトウェア アプリケーションに 直接書き込む	40
詳細情報について	41
メンテナンスとトラブルシューティング	43
トラブルを防ぐためのヒント	44
インタラクティブホワイトボードの クリーニング	45
一般的なトラブルシューティング	47
インタラクティブホワイトボードの輸送	60
SMART 技術サポートへの問い合わせ	61
仕様図	63
壁面取付（横断図）	63
壁面取付（横から見たところ）	63
壁面取付（正面から見たところ）	64
USB 2.0 ケーブルを延長する	65
フロアスタンドにインタラクティブホワイトボードを取り付ける	67
ハードウェア環境コンプライアンス	73
廃電気・電子機器に関する欧州連合の指令（WEEE Directive；ダブルトリプ ルイー指令）	73
電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限（RoHS Directive；RoHS 指令）	73
バッテリー	74

梱包	74
特定電子機器	74
中国の電子情報製品 規制	74
米国消費材安全性改善法	74
カリフォルニア州大気資源局—合板製品からのホルムアルデヒド排出規制	74
カスタマサポート	75
オンライン情報およびサポート	75
トレーニング	75
技術サポート	75
配送および修理状況	76
一般的な質問	76
保証	76
ご登録	76
索引	77

第 1 章

SMART Board V280 インタラクティブ ホワイトボードの 紹介

本章では、

以下の項目では、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード、部品およびアクセサリについて説明します。

はじめに	2
特徴.....	2
SMART Board インタラクティブホワイトボードにはどのような 機能があるのか？	3
パソコンの最低要件	4
納品された SMART Board の輸送箱に入っているもの.....	4
一般交換部品	7
その他のアクセサリ	7

はじめに

お買い上げいただいた SMART 製品は、壁面設置式のペン専用前面投影型インタラクティブホワイトボードです。本製品は、付属品のペンで画面にタッチすることで、アプリケーションの起動や終了、ファイルのスクロール、会議、新規文書の作成、既存文書の編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオクリップの再生など、パソコンでできることはすべて可能です。インタラクティブホワイトボードをパソコンやプロジェクターに接続すると、パソコンの画像がスクリーンに表示されます。デジタルインクを使ってアプリケーションに書き込むことができ、そのメモは、確認用や配布用として SMART Notebook ファイルに保存可能です。

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、外部電源を使用しない、高速 USB 2.0 バス電源装置です。インタラクティブホワイトボードは、USB が主要接続モードであるため、付属品の16フィート(5 m)高速USB 2.0ケーブルでパソコンから電源供給を受けます。インタラクティブホワイトボード側には電源スイッチはありません。したがって、パソコンの電源をオン状態にすることで作動します。

特徴

SMART Board V280インタラクティブホワイトボードは、耐久性と信頼性を誇ります。その特徴は、堅固なボード表面、耐損傷性ペン、そして、SMART独自のDVIT (Digital Vision Touch; デジタルビジョンタッチ) テクノロジーにあります。インタラクティブホワイトボードは、対角線の長さが77インチ、縦横比4:3 です。ペントレイの長さは、製品の幅と同じです。



注目の機能

DVIT テクノロジー

上部バランスの両隅に配置された2台のデジタルカメラが、ディスプレイ表面を移動するペンの反射チップの位置を追跡します。

ペン

すべてのインタラクティブホワイトボードペンは、電源管理のための直感的チップスイッチインターフェースを備えています。バッテリー式ペンは、大人から子供まで幅広い年齢層で、その機能を十分に発揮すると共に日常の過酷な使用にも耐えるよう設計されています。

耐久性に優れたボード表面

堅固なラミネート加工のボード表面は、傷、へこみなどに強く、投影には最適です。

ケンジントンロック機能

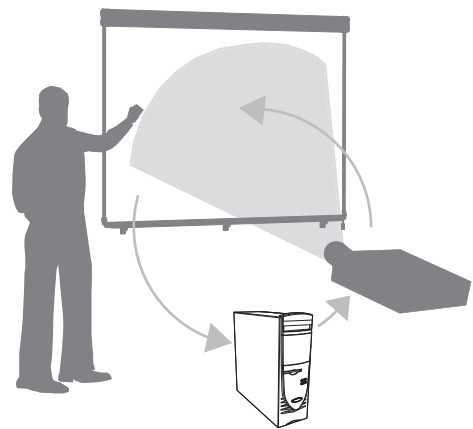
この安全対策機能は、インタラクティブホワイトボードをセキュリティケーブルで結び、盗難を防ぐものです。

SMART Board インタラクティブホワイトボードにはどのような機能があるのか？

SMART Board インタラクティブホワイトボードとペンの関係は、ちょうど PC とその入力装置として機能するマウスのようなものであり、インタラクティブホワイトボードのスクリーンから、接続されているパソコン上で利用可能なアプリケーションの操作が可能になります。

インタラクティブホワイトボードを SMART 製品ドライバがインストールされているパソコンに接続した場合、次のように動作します：

- パソコンがアプリケーションを実行し、プロジェクターへ画像を送信します。
- プロジェクターからインタラクティブホワイトボードに画像が投影されます。
- インタラクティブホワイトボードは、パソコンのモニターとして、またその入力装置(つまりマウスやキーボード)としての役割を果たし、画面にペントッチでアプリケーションをコントロールします。



SMART Notebook ソフトウェアをパソコンにインストールすると、フローティングツールがデスクトップと起動中のアプリケーション上に表示されます。デフォルト設定では、SMART Notebook はペントッチをマウスの左クリックとして判断します。フローティングツール ツールバーの[ペン]ボタンを選択すると、SMART Notebook は、パソコンのマウスドライバと交信し、ポインタがカラーペンに変わり、デスクトップや起動中のアプリケーションにデジタルインクで書き込むことができるようになります。ペン設定は、インクの色なし、色付き、幅などを変更可能です。そして、そのメモは、SMART Notebook ファイルへ、あるいは、Ink Aware アプリケーションに直接保存することができます。さらに、メモを消すときのイレーサーツールの幅など、その他のツールを選択したり、カスタム化も可能です。

パソコンの最低要件

インタラクティブホワイトボードへの確実な給電と SMART 製品ドライバの実行には、最低仕様条件を確実に満たす パソコンが必要になります。インタラクティブホワイトボードのシステム要件については、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの仕様 ([文書 121618](#) www.smarttech.com/support) をご参照ください。

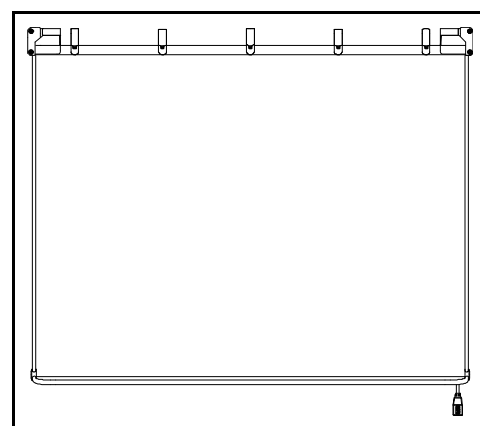
▲ 注意

パソコンは、標準型プロジェクターを装備した www.smarttech.com/support の [文書 121618](#) で指定された処理能力が必要になります。パソコンに AirLiner ワイヤレススレート、SMART Response インタラクティブ・レスポンス・システム、SMARTドキュメントカメラなどの周辺機器を追加する場合には、パソコンの処理能力の大幅な増強が必要になります。なお、SMARTは、処理能力不足が原因で生じたい如何なる損害または損失に対しても、その責任を負うことはありません。

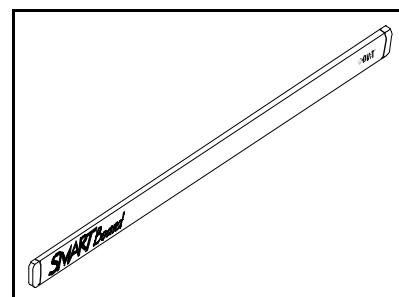
納品された SMART Board の輸送箱に入っているもの

納品されたインタラクティブホワイトボードに同梱されている部品は、以下の通りです：

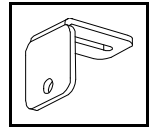
- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード (1)



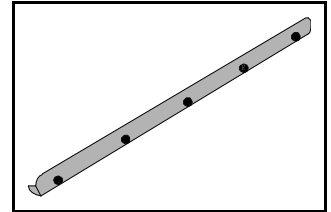
- インタラクティブホワイトボードバランス (1)



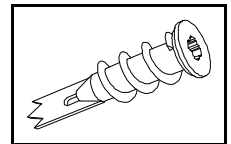
- L 形タブ (3)



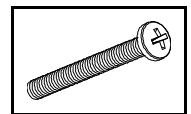
- 32 インチ (81.3 cm) 壁面取付用ブラケット (1)



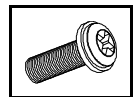
- セルフタッピング壁アンカー (8)



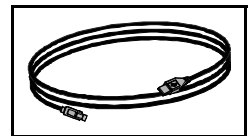
- 長いセルフタッピングネジ (8)



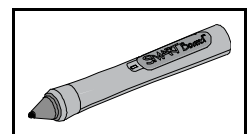
- スレッドフォーミングネジ (3)



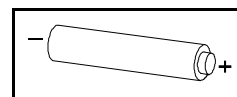
- 16 フィート (5 m) 高速 USB 2.0 ケーブル (1)



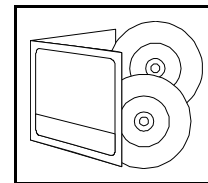
- バッテリー式ペン (2)



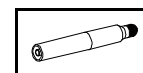
- 単 3 アルカリ電池 (2)



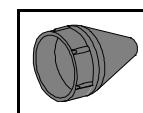
- ソフトウェア CD (2)



- 交換用ペン先 (4)



- 交換用ペンチップ (4)



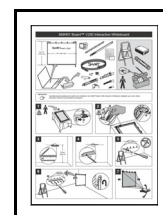
- 制限付き保証書 (1)



- 製品登録カード (1)



- 図解による設置指示書類



一般交換部品

以下のケーブル部品のご購入については、[認定 SMART 代理店](#) までお問合せください。

SMART 高速 USB 2.0 ケーブル

付属品の 16 フィート (5 m) 高速 USB 2.0 ケーブルで、Windows® パソコンから SMART Board インタラクティブホワイトボードに給電されます。

ペン

バッテリー式ペンのペンチップに埋め込まれた 2 個の LED によって、インタラクティブホワイトボードカメラがスクリーン表面を移動するペンの位置を追跡します。

SMART Board インタラクティブホワイトボード壁面取付用キット

32 インチ (81.3 cm) 壁面取付用ブラケットに同梱のネジ (5 本) と乾式壁アンカーを使用することで、インタラクティブホワイトボードの壁面への取り付けを簡単かつ安全に行うことができます。

ペン先およびペンチップ

インタラクティブホワイトボードには、交換用のペン先とペンチップ (各 4 個) が同梱されています。

注記

また、取り外し可能なバランスと USB ハブの交換も可能です。なお、インタラクティブホワイトボードカメラの交換には、特殊な工具は必要ありません。これらの現場で交換可能な部品のご注文については、[認定 SMART 代理店](#) までお問合せください。

その他のアクセサリ

以下のアクセサリ部品のご注文については、[認定 SMART 代理店](#) までお問合せください。

フロアスタンド

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、高さの調整ができるフロアスタンドに取り付けることができます。FSV280 フロアスタンドに関する詳細については、付録 C 67 ページをご参照ください。

USB 延長ケーブル

インタラクティブホワイトボードとパソコン間の 16 フィート (5 m)USB ケーブル (付属品) を延長したい場合には、SMART アクティブ USB 延長ケーブルを使用して 16 フィート (5 m) 延長することで、最長 32 フィート (10 m) 伸ばすことができます。詳細については、付録 B 65 ページをご参照ください。

第 2 章

SMART Board V280 インタラクティブ ホワイトボードの 設置および安全対策

本章では、

以下の項目では、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの壁面への設置について説明します。

環境条件	10
SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの設置	11
インタラクティブホワイトボードを設置する前に	11
壁面取付時の推奨高さ	11
必要なツール	12
インタラクティブホワイトボードを壁面に取り付ける	12
インタラクティブホワイトボードとプロジェクター (オプション) の位置を合わせる	15
設置を完成させる	15
ペンを準備する	18
ケンジントンロックを使用したインタラクティブホワイトボードの 安全対策	19

環境条件

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを設置する前に、以下の環境条件をご確認ください。

環境条件	パラメータ
操作温度	41°F ~ 95°F (5°C ~ 35°C)
保管温度	-40°F ~ 120°F (-40°C ~ 50°C)
湿度	5 ~ 80% 相対湿度、結露のない場所でご使用ください
耐水性および液体抵抗	<ul style="list-style-type: none"> • 屋内での使用を目的とする • 電子構成部品に液体をかけたり、噴きつけないでください
ほこり	<ul style="list-style-type: none"> • ほこりはあまり多くない方が望ましい • 「汚染なし、あるいは、乾燥した非導電性の汚染に限る」と定義されている EN61558-1 の汚染度 1(P1) に従って設計されています。インタラクティブホワイトボードの定期的なクリーニングに関する詳細については、45 ページをご参照ください。
静電気放電 (ESD)	<ul style="list-style-type: none"> • 静電ショックへの耐性を配慮した設計 • 直接および間接 ESD に対する EN61000-4-2 重大度 4 • 330Ω、150 pF プローブ（空中放電）による最大 15kV（両極）まで機能不全なし、あるいは、ダメージなし • 未接続コネクタは、直接（接触）放電による最大 8kV まで機能不全なし、あるいは、ダメージなし
伝導性雑音および放射性雑音	EN55022/CISPR 22、クラス B
燃焼性	<ul style="list-style-type: none"> • 電子部品およびコネクタ：UL 94-V0 • USB 筐体（ハブはプラスチック製）：UL94-HB • USB 2.0 ケーブル：UL VW-1/CSA FT4
組立品質	<ul style="list-style-type: none"> • USBケーブル: ケーブルおよびワイヤーハーネスに関する条件および承認の IPC/WHMA-A-620 クラス 2 仕上基準 • デジタルカメラ: 電子機器組み立て容認に関する IPCA-610 基準はクラス 2 仕様（専用修理電子部品）

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの設置

インタラクティブホワイトボードを設置する前に

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを設置する前に、直射日光の当たらない場所をお選びください。直射日光が当たる窓辺など、明るい光源は、投影される画像のコントラストを低減するため、インタラクティブホワイトボードの赤外線技術の性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

設置場所を十分に検討すると同時に、プロジェクターの設置または配置についても計画してください。プロジェクターとインタラクティブホワイトボードの高さと距離を、投影される画像の位置がスクリーン表示に合うように適切に配置してください。インタラクティブホワイトボード脇のユーザが立つ側には、十分なスペースを確保することを忘れないでください。

注記

また、SMART Board V280インタラクティブホワイトボードは、フロアスタンドに取り付け可能です。詳細については、付録 C 67 ページをご参照ください。

壁面取付時の推奨高さ

インタラクティブホワイトボードを壁面に取り付ける高さは、利用者の平均的な身長に合わせてください。インタラクティブホワイトボードが低すぎると下向きの姿勢を強いられ、高すぎると手を遠くに伸ばさなければなりません。大人の平均身長に適する配置は、インタラクティブホワイトボードの壁面取付用ブラケットの位置が床上 78 5/8 インチ (2 m) の高さです。インタラクティブホワイトボードのトップまでの距離は、84 インチ (213.4 cm) になります。

子供、身長の低い大人、車椅子を利用する大人に適した配置は、インタラクティブホワイトボードの壁面取付用ブラケットの位置が床上 60 3/4 インチ (154.3 cm) の高さです。インタラクティブホワイトボードのトップまでの距離は、66 インチ (167.7 cm) になります。

警告

壁面またはフロアスタンドに SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを設置する作業は、大き過ぎて 1 人では安全を確保できないため 2 人で実施してください。インタラクティブホワイトボードを持ち上げるときには、作業者がスクリーンの両側に立ち、片手で下側隅を支えながら、片手で上側のバランスを取ります。

注記

インタラクティブホワイトボードを壁面の低い位置に取り付ける場合、家具や他のものが投影される画像を遮ることがないように高さを選んでください。

必要なツール

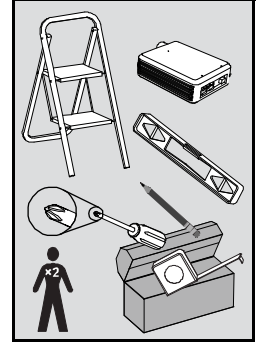
インタラクティブホワイトボードを壁面に設置する際、以下のツールが必要になりますが、同梱されていませんので、ご用意ください：

- Phillips® 2 番ドライバ

注記

すべてのネジは、手でしっかり締めてください。

- 定規または巻き尺
- 建築用水準器
- 鉛筆またはその他のマーキング用ツール
- 脚立



インタラクティブホワイトボードを壁面に取り付ける

以下の手順に従って、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを、石膏ボードまたは乾式壁で施工された壁面に取り付けてください。コンクリート壁への取り付けについては、いくつかご注意いただきたい点があります。

警告

以下の指示を守らない場合、作業者のケガや製品の損傷につながります。

注意

- インタラクティブホワイトボードを壁に立てかけてはいけません。インタラクティブホワイトボードのフレームおよびペントレイブラケットは、製品重量を長時間支えることを想定していません。必ず、十分に注意しながら、きれいで平らな面に表側を下にして置くようにしてください。
- 組み立ての際には、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに同梱されているネジのみをご使用ください。アクセサリ以外のネジを使用した場合、製品の損傷の原因になります。

重要

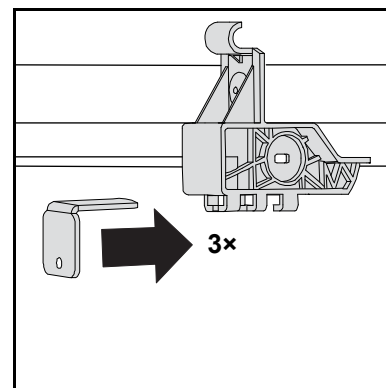
インタラクティブホワイトボードをきれいで平らな面に置いてから、カメラ用の USB ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

注記

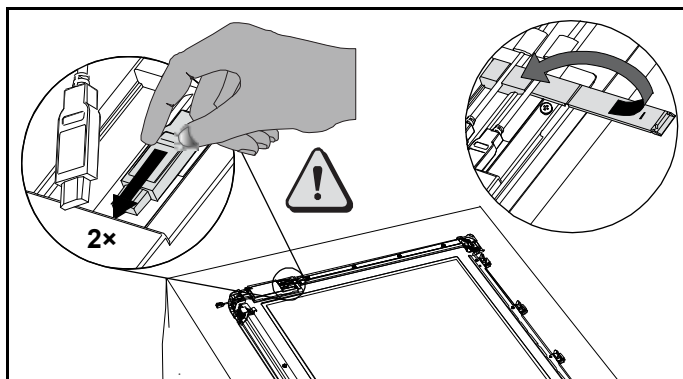
SMART 製品に備わったすべてのインタラクティブ機能を十分活用するために、デジタルプロジェクターの接続を推奨します (製品には含まれていません)。

インタラクティブホワイトボードの取り付け手順

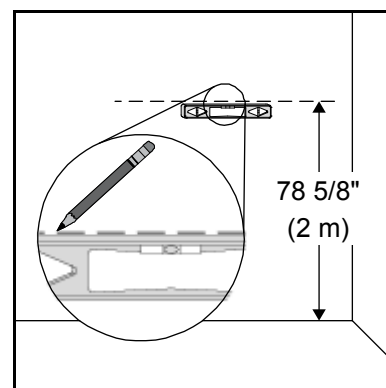
1. インタラクティブホワイトボードを表側を下にして、きれいで平らな面に置きます。それから、3つのペントレイブラケットの各スロットにL形タブを差し込みます。



2. 各カメラと USB ハブを結ぶ 2 本の USB ケーブルが接続されていること、さらに、ケーブルクリップが以下図の通りに固定されていることを確認してください。



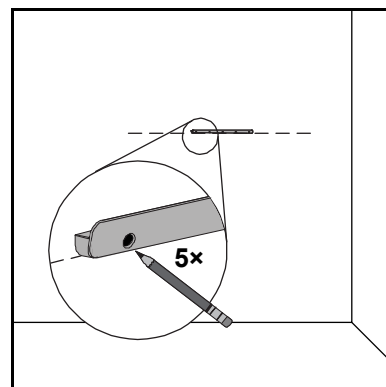
3. 設置する壁面に、インタラクティブホワイトボードを取り付ける位置の中心となる水平線を引いてください。線を引くときには、鉛筆、建築用水準器、巻尺または定規を使用してください。既にプロジェクターが天井に取り付けられている場合には、この線が投影される画像のおおよその中心となります。



i 注記

右図は、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードを大人が使用する場合の一般的な高さを示しています。その他のユーザ向けに推奨されている取り付け高さについては、11 ページをご参照ください。

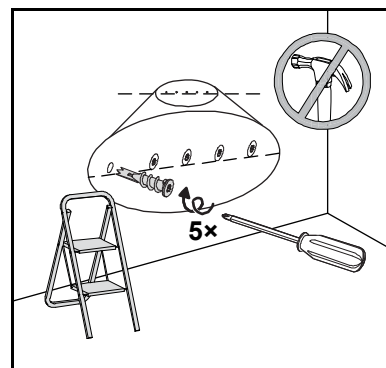
4. 取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、壁面の取り付け用の穴(5箇所)の位置に印をつけてください。



5. Phillips 2番ドライバを使用して、付属品のセルフタッピング壁アンカーを印をつけた位置に合わせて留めます。

i 注記

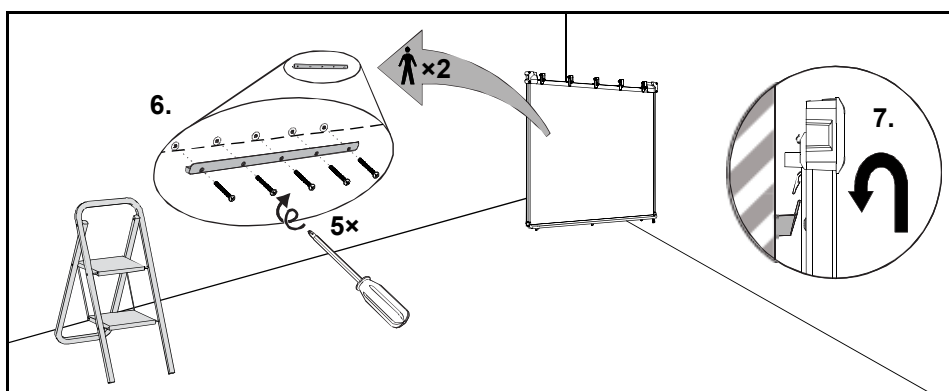
アンカーを壁面に留めるとき、金槌は使用しないでください。壁と同一平面にアンカーを留めることができない場合には、留め金具を使用してください。このような場合には、引いた印に合わせてアンカーを使用する必要はありません。留め金具は、ブラケットを壁に固定するネジを適切に支えるために使用します。



i 注記

- コンクリート壁については、印の位置に穴を開けてから、コンクリートアンカー（製品には含まれていません）を穴に挿入します。
- 壁アンカーを壁と同一平面に留める際には、必要に応じて、脚立を使用してください。

6. ドライバを使用して、アクセサリの長いタッピングネジ（5本）で壁面取付用ブラケットをセルフタッピング壁アンカーに留め付けください。
7. 2人の作業でインタラクティブホワイトボードを壁面取付用ブラケットの中心に吊り下げます。

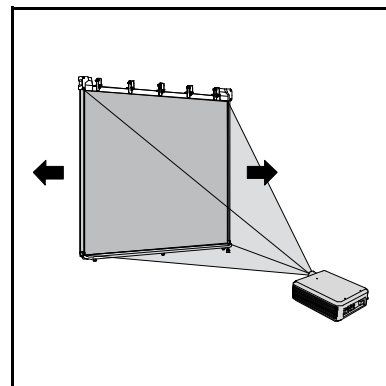


インタラクティブホワイトボードとプロジェクター（オプション）の位置を合わせる

移動できない位置にプロジェクターを設置した場合には、L 形タブを留める前に、インタラクティブホワイトボードを投影される画像に位置合わせしてください。

インタラクティブホワイトボードとプロジェクターの位置を合わせる手順

1. プロジェクタープラットフォームまたはスタンドにプロジェクターを設置または配置します。次に、電源を入れて、プロジェクターのレンズをインタラクティブホワイトボードのスクリーンの中心に向けます。
2. プロジェクターメーカー発行の説明書などに従って、投影される画像のサイズ、レベル、焦点の微調整を行います。
3. インタラクティブホワイトボードをブラケットで左右にスライドさせて、投影される画像との位置を調整します。
4. ステップ2および3を繰り返して、インタラクティブホワイトボードの位置を適切に合わせします。



画像は、正しく位置を調整すると、インタラクティブホワイトボードのスクリーンにぴったりと収まります。投影される画像の各エッジは、だいたいディスプレイ表面のエッジまで広がるようにしてください。

設置を完成させる

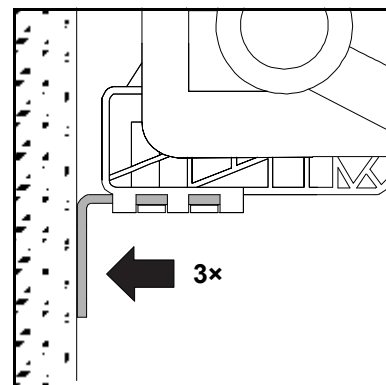
以下の手順に従って、インタラクティブホワイトボードの設置を完成させてください。

設置を完成させる手順

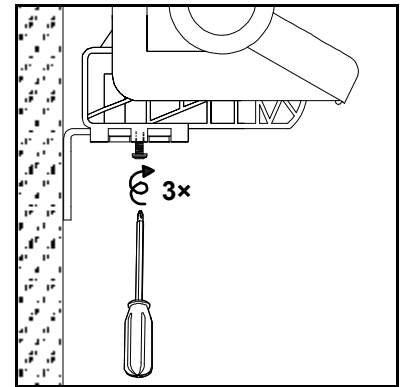
1. インタラクティブホワイトボードをしっかりと壁に押しつけてから、すべてのL形タブが壁に触れるまでスライドさせながら戻します。

i 注記

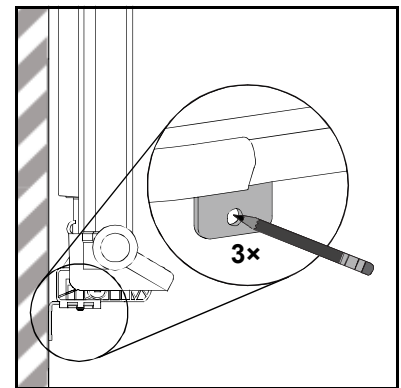
壁面の凹凸に適応するために、各タブには 1/2 インチ (1.5 cm) の調節幅があります。



2. 図示の通り、ドライバを使用して、付属品のスレッドフォーミングネジ(小)の1つで、各タブ(3個)を対応するブラケットに留めます。



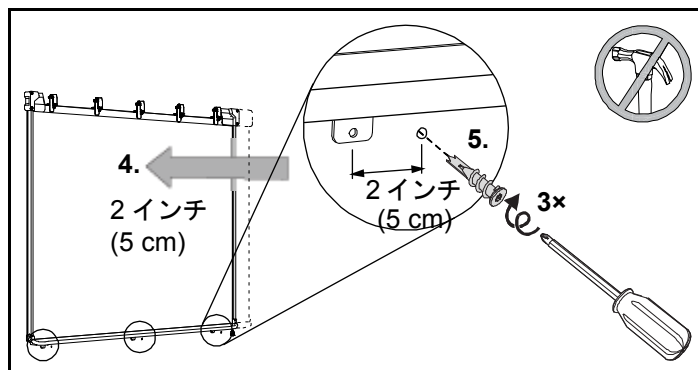
3. 各タブをテンプレートとして使用し、3箇所(3個)の穴の位置を決め、壁に印を付けます。



4. インタラクティブホワイトボードを壁面取付用ブラケットに沿って2インチ(5 cm)左へスライドします。
5. ドライバを使用して、印をつけた位置に付属品のセルフタッピング壁アンカーを留めます。

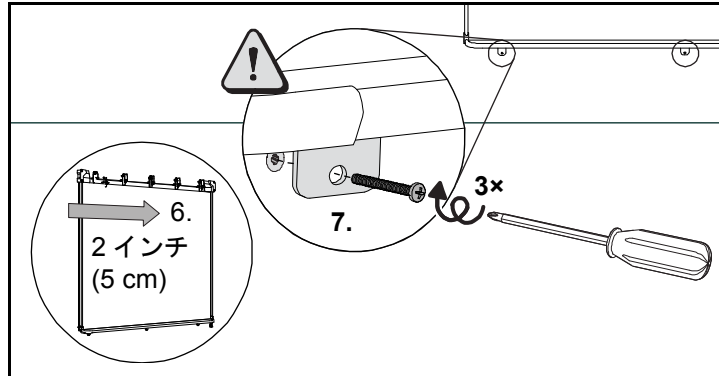
i 注記

コンクリート壁については、印の位置に穴を開けてから、コンクリートアンカー(製品には含まれていません)を穴に挿入します。



6. インタラクティブホワイトボードを壁面取付用ブラケットに沿って2インチ(5 cm)右へスライドします。

7. ドライバを使用して、付属品の長い金属製のタッピングネジを各タブ（3 個）に通して、壁アンカーの真下に留めます。



▲ 注意

設置の安全性を確保し、さらにインタラクティブホワイトボードの壁からの落下を防止するために、必ずアクセサリの壁アンカーとネジを使用してインタラクティブホワイトボードを壁に固定してください。

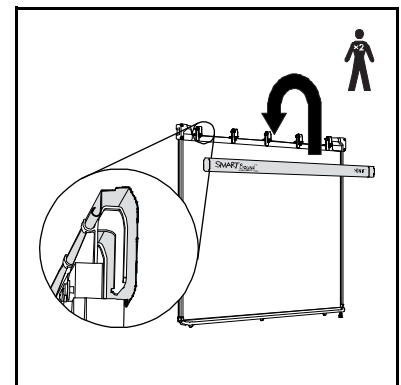
i 注記

セキュリティケーブルを使用して、インタラクティブホワイトボードに施錠したい場合には、「ケンジントンロックを使用したインタラクティブホワイトボードの安全対策」19 ページをご参照ください。

8. バランスを、クリップ（インタラクティブホワイトボードのトップ）にかぶせます。バランスが正しく取り付けられるとカチッと音がします。

i 注記

バランスをつかんでインタラクティブホワイトボードを持ち上げようとする、バランスが外れますので、ご注意ください。

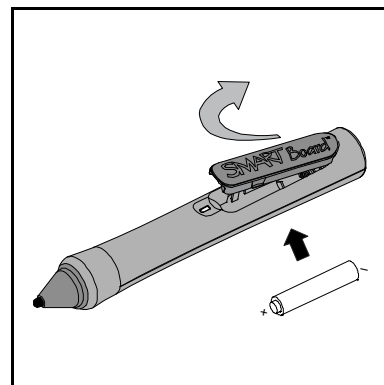


ペンを準備する

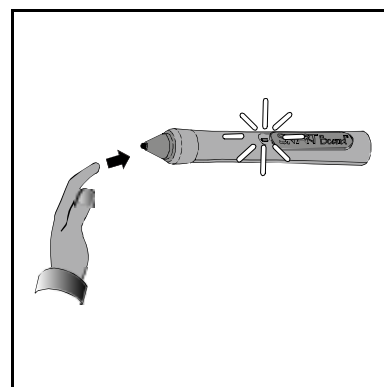
以下の手順に従って、付属品のインタラクティブホワイトボードペンの準備をしてください。

ペンの準備手順

1. 各ペンのバッテリーカバーを外します。次に、図示の通りに、単 3 電池を入れます。



2. 各ペンのペン先にあるチップスイッチを指で押して、ペンが正常に動作することを確認めます。各バッテリー室脇のLEDライトが緑色に点灯します。ペントレイにペンを置きます。



i 注記

- － 緑色の LED ライトは、ペンが正常に動作していることを示します。赤色の LED ライトは、残りのバッテリーの操作時間が 1 時間未満であることを示します。
- － ペン先のチップスイッチを押したときに、ペンの LED ライトが点灯しない場合には、60 ページをご参照ください。

インタラクティブホワイトボードの設置後、プロジェクターに同梱されているメーカー発行の説明書などに従って、デジタルプロジェクターをパソコンに接続してください。

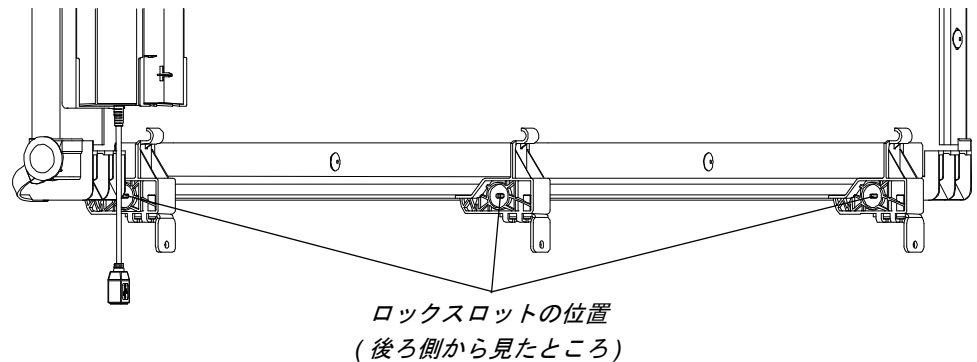
ケンジントンロックを使用した インタラクティブホワイトボードの安全対策

ケンジントンケーブルやロック装置（製品には含まれていません）などのセキュリティケーブルでインタラクティブホワイトボードと固定された物を結び、インタラクティブホワイトボードを守ります。

重要

ケンジントンロックは、施錠が破られる場合があるため、完全な保護手段ではありません。しかし、無理に取り外した場合、ケンジントンロックの穴が壊れるため、盗品か否かの判別が容易で、製品の転売を難しくします。

インタラクティブホワイトボードのペントレイの下にあるブラケット（3個）には、セキュリティケーブルを結ぶためのロックスロットがあります。



インタラクティブホワイト ボードを固定する手順

1. 重い物または固定された物にセキュリティケーブルを巻き付けてから、ケーブルの錠側の端を輪にした端に通します。
2. ケーブルに同梱されている指示書に従って、錠の差し込み部をロックスロットに差し込みます。

注記

インタラクティブホワイトボードの両端にあるブラケットのロックスロットには、外側エッジに最も近い横側からは差し込みできません。

第 3 章

インタラクティブ ホワイトボードを パソコンに接続する

本章では、

以下の項目では、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードとパソコンの接続について説明します。

概要.....	22
USB ケーブルを接続する	22
パソコン設定を変更する	24
推奨設定値	24
パソコンの解像度をプロジェクターの解像度に合わせる	24
SMART 製品ドライバをインストールする	25
インタラクティブホワイトボードの向きを調整する	26
インタラクティブホワイトボードペンをマウスとして使用する	28

概要

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの高速 USB 2.0 対応インターフェースにより、インタラクティブホワイトボードをパソコンに接続することができます。デジタル信号と電源の両方が、付属品のUSB 2.0ケーブルでパソコンからインタラクティブホワイトボードに供給されるため、電源の増設は必要ありません。

▲ 注意

- SMART Board インタラクティブホワイトボードの安全な操作と損傷防止の目的から、必ず、インタラクティブホワイトボードに同梱されている高速 USB 2.0 ケーブルのみを使用し、高速 USB 2.0 準拠のポートを備え、USB マークの付いたパソコンに接続してください。さらに、USB パソコンは CSA/UL/EN 60950 に準拠しており、CE マークと CAS/UL 60950 用の CSA/UL マークが付いていなければなりません。
- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードをパソコンに接続する際には、必ず、付属品の高速 USB 2.0 ケーブルのみをご使用ください。

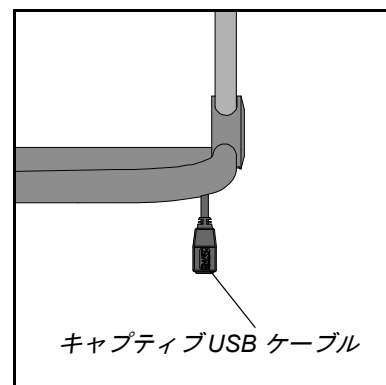
👉 重要

バッテリーモードで動作するラップトップパソコンは、必ずしもインタラクティブホワイトボードの操作に適した電源とは言えません。インタラクティブホワイトボードにラップトップパソコンを接続している場合には、ラップトップパソコンを AC 電源プラグに接続の上、操作してください。

USB ケーブルを接続する

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、最高処理速度480 Mbpsの高性能USB 2.0高速周辺インターフェースを搭載しています。ユニットは、USB 2.0 準拠インターフェースでのみ動作します。

インタラクティブホワイトボードのメインUSB接続は、キャプティブ・フライング・リード・ケーブルです。コネクタは、USBタイプBです。このキャプティブケーブルは、インタラクティブホワイトボードを壁から取り外すことなく、USB プラグに簡単に接続することができます。

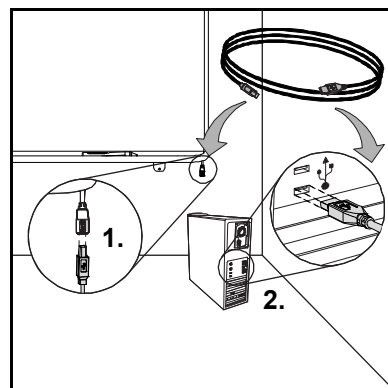


付属品の USB ケーブルによる接続手順

1. 付属品の 16 フィート (5 m) USB ケーブルの片端を、インタラクティブホワイトボードの右下角に下がっているキャプティブコネクタに接続します。

i 注記

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードをパソコンに接続する際は、必ず、アクセサリ的高速 USB 2.0 ケーブルのみをご使用ください。



2. 高速USB 2.0プラグのもう一方をパソコンに接続します。

i 注記

- パソコン正面にある USB プラグは、必ずしもインタラクティブホワイトボード用として最適な電源とは言えない場合があります。
- 長さが 16 フィート (5 m) を超える場合には、powered 高速 USB 2.0 延長ケーブルが必要になります。詳細については、付録 B 65 ページをご参照ください。

👉 重要

バッテリーモードで動作するラップトップパソコンは、必ずしもインタラクティブホワイトボードの操作に適した電源とは言えません。ラップトップパソコンを AC 電源プラグに接続の上、インタラクティブホワイトボードを操作してください。

3. パソコンの電源ボタンを押して、インタラクティブホワイトボードを起動してください。
4. 必要に応じて、プロジェクターの電源ボタンを押して起動してください。

インタラクティブホワイトボードのコントローラーはパソコンを電源として、スクリーンにパソコンの画像が投影されます。

i 注記

部屋の照明を消す、あるいは、ブラインドを閉じると、SMART Board のインタラクティブホワイトボードのスクリーンが見やすくなります。また、直射日光もインタラクティブホワイトボードの性能に影響を与えますのでご注意ください。

5. 必要に応じて、パソコンにログオンします。パソコンがログオンを要求しない場合には、パソコンのデフォルトのスタート画面が表示されます。

そして、パソコンの設定を変更後、SMART製品ドライバ(25 ページ)をインストールする必要があります。

パソコン設定を変更する

設定を最適化するために、インタラクティブホワイトボードをサポートするパソコンには、以下の推奨設定値をご使用ください。

推奨設定値

パソコンの電源管理の設定値を、1時間使用しなかった場合にはモニターをオフにするとし、さらに2時間後にハードディスクをスタンバイモードにするように、変更します。このように時間を延長することで、予想外のパソコンのシャットダウン(例:プレゼンテーション中または会議中にパソコン操作が中断することによる)を防止します。

アイドルタイムの経過後、パソコンは、プロジェクターへRGBビデオ信号の送信を停止すると同時に、プロジェクターはスタンバイモードに入ります。同様に、プロジェクターに同梱されているメーカー発行の説明書などに従って、プロジェクターをスタンバイモードにすることができます。

Windowsオペレーティングシステムの設定値を変更する手順は、Windowsコントロールパネルの**電源オプション**アイコンをダブルクリックしてから、**[電源スキーム]**タブの省電力機能と電源管理プロパティを調節します。以上の電源管理の設定値の変更にに関する詳細については、オペレーティングシステムに同梱されている指示をご参照ください。

解像度をプロジェクターに合わせる

プロジェクターとパソコンの解像度の設定値が一致しているか確認してください。パソコンの解像度とプロジェクターの解像度が一致していない場合、画像がインタラクティブホワイトボードのスクリーン全体に適切に表示されずに、ちらつきや歪みが生じます。

プロジェクターに同梱されている指示に従って、プロジェクターを最適な画像解像度に設定してから、パソコンの解像度を合わせます。パソコンの画面の解像度は、Windowsコントロールパネルで変更します。パソコンの解像度変更の不明な点については、オペレーティングシステムに同梱されている指示をご参照ください。

表示を最適化するには、パソコンのリフレッシュレートの調節が必要な場合があります。パソコンを初期のリフレッシュレート60 Hzに設定してから、このレートを増減しながら最適なリフレッシュレートを決定します。パソコンのリフレッシュレート変更の詳細については、オペレーティングシステムに同梱されている指示をご参照ください。

SMART 製品ドライバをインストールする

SMART 製品ドライバをパソコンにインストールすると、SMART Board V280 のインタラクティブホワイトボードのディスプレイは、スクリーン表面にインタラクティブホワイトボードペンをタッチすることで応答するようになります。SMART 製品ドライバには、アクセサリのペンでパソコンのアプリケーションを制御し、デジタルリンクで書き込むために必要なツールが含まれています。

最低要件を満たした操作仕様のパソコンであれば、SMART 製品に同梱されているソフトウェア CD を使用して、SMART 製品ドライバをインストールすることができます。インタラクティブホワイトボードのシステム要件については、[文書 121618](http://www.smarttech.com/support) www.smarttech.com/support をご参照ください。


重要

付属品の CD から SMART 製品ドライバをインストールする前に：

- 23 ページの指示に従って、付属品の USB ケーブルを使用してインタラクティブホワイトボードをパソコンに接続します。SMART 製品ドライバのインストール後、インタラクティブホワイトボードをパソコンに接続すると、エラーメッセージが表示されることがありますが、これは SMART Board サービスに問題が発生したことを知らせるものです。詳細については、<http://www2.smarttech.com/kbdoc/133790> をご参照ください。
- パソコンに現在インストールされている SMART ソフトウェアまたは SMART 製品ドライバの全てのバージョンを削除してから、パソコンを再起動します。ソフトウェアの削除方法が不明の場合には、システム管理者にお問合せください。

SMART 製品ドライバのインストール手順

1. 必要に応じて、パソコンおよびプロジェクターの電源を入れてから、パソコンで開かれているアプリケーションをすべて終了させます。
2. パソコンの CD ドライブに付属品の SMART 製品ドライバ CD を挿入し、ソフトウェアのインストール画面を起動し、画面に表示された指示に従います。
SMART Board ツールが自動的に開きます。
3. SMART Board ツールが開かない場合には、[スタート] > [すべてのプログラム] > [SMART Technologies] > [SMART Board ドライバ] > [SMART Board ツール] を選択してください。

SMART Board アイコン  が通知エリアに表示され、インタラクティブホワイトボードと SMART 製品ドライバの通信が開始されます。


SMART 製品ドライバをインストール後、以下のセクションの指示に従って、向きを調整するための簡単な手順を実行してください。

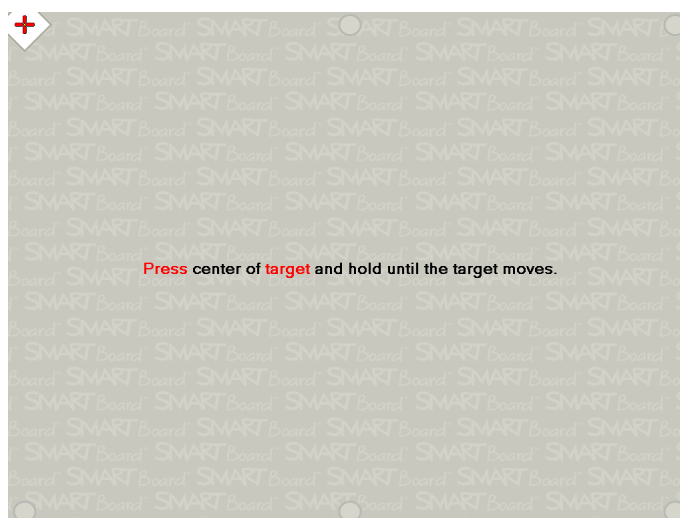
インタラクティブホワイトボードの向きを調整する

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、製造工程で入力された方向データ(デフォルト)が含まれています。SMART 製品ドライバをパソコンにインストールしてから、インタラクティブホワイトボードの向きを調整します。インタラクティブホワイトボードの向きを調整することで、最高レベルの書き込みとタッチ精度を保証します。前回使用してからプロジェクターやインタラクティブホワイトボードを動かしてしまった場合、あるいは、ペンでスクリーンにタッチしたときにマウスポインタとペンがほどよく揃わない場合には、インタラクティブホワイトボードの向きを調整してください。

インタラクティブホワイトボードの向きを調整する際には、日光または白熱電灯による周囲の照明から離れていることを確認してください。蛍光灯は、インタラクティブホワイトボードの向きに影響しません。プロジェクター、パソコン、SMART 製品ドライバを起動中であることを確認してください。

インタラクティブホワイトボードの向きを調整する

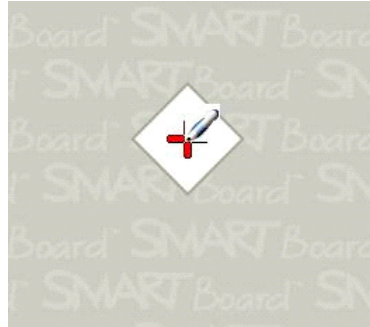
1. パソコン側で通知エリアの **SMART Board** アイコン  をクリックしてから、**[校正]** を選択してください。
校正画面が開きます。
2. ペントレイでペンを選択します。
3. スクリーンの上部左隅から、対象が次の点に移動するまで、ペンチップで対象の中心にしっかりとタッチします。対象をスクリーンから持ち上げるときには、ペンを素早く振らないようにしてください。また、引き上げ方向は、スクリーンに対し垂直にしてください。



校正全画面

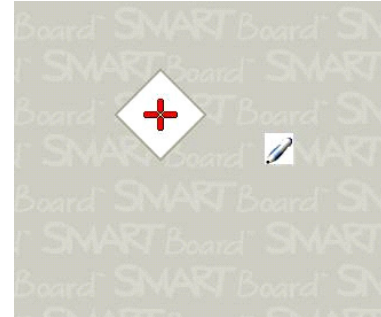
i 注記

インタラクティブホワイトボードのスクリーンにペン先を押しつけると、ペンのLEDライトが点灯します。



よい校正点

対象の中心にペンタッチします。



悪い校正点

- 最後の点まで、ステップ 3 を繰り返します。

i 注記


精度が不十分と思われる点があれば、パソコンのキーボードの [左矢印] キーを押して、その点の校正を繰り返します。

- 最後の点で対象の中心に強くタッチして、メッセージ「向き調整作業が完了するまでお待ちください」が表示されるまで押し続けます。

校正画面を閉じます。

この校正手順は、SMART Notebook コントロールパネルの SMART ハードウェア設定で指定する精度設定にもよりますが、6 または 15 タッチで終わります。以下の手順に従って、精度の設定を変更してください。

校正精度の変更手順

- Windowsの通知エリアで**SMART Board**アイコンを選択してから、[コントロールパネル] を選択します。
- [**SMART Hardware の設定**] を選択します。
- ドロップダウンリストから [**校正 / 調整設定**] を選択します。
- 希望の設定を選択してから、[**OK**] を押します。
- 精度の変更状態を確認するため、校正手順を実行します。

インタラクティブホワイトボードペンをマウスとして使用する

インタラクティブホワイトボードには、バッテリー式のペンが2本含まれています。接続中のパソコンで SMART 製品ドライバを実行後、デスクトップの画像または他の開かれているアプリケーションにデジタルインクで書くために、このペンを使用します。必要に応じて、マウスを移動させたり、キーボードのキーにタッチして、スタンバイモードを終了します。

インタラクティブホワイトボードのボード表面にペンでタッチすると、インタラクティブホワイトボードのフレーム上部の隅に取り付けられた赤外線デジタルカメラがボード表面のペンチップからの反射光を検出し、ディスプレイ表面のチップの水平座標および垂直座標(xまたはy)を登録します。この座標をパソコンのマウスドライバが認識し、ポインタを投影される画像の対応点に移動させます。

インタラクティブホワイトボードでアプリケーションを開くには、アプリケーションのアイコン上でペンチップを2回続けて押します。ペンを2回続けて押すとアプリケーションが開く機能は、マウスをダブルクリックしてパソコンでアプリケーションを開くことと同じです。同様に、ペンでインタラクティブホワイトボードのスクリーンを1回押すことは、マウスの左クリック1回と同じです。

インタラクティブホワイトボードでペンを押すと、バッテリー室正面のLEDインジケータライトが緑色に点灯します。このライトが赤色の場合、ペンのバッテリーが終わりかけているため、バッテリーを交換してください。使用中のアプリケーションがペンタッチに反応しない場合には、インジケータライトが点灯していることを確認してください。点灯しない場合には、さらに強く押してください。以上の操作でも点灯しない場合には、ペンのバッテリーが切れたか、あるいは、バッテリーが入っていないことが考えられます。どちらの場合にも、新しいバッテリーを入れてください。SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードのペンのトラブルシューティングに関する詳細については、[文書 129600](#) www.smarttech.com/support をご参照ください。

第 4 章

SMART Notebook ソフトウェアについて

本章では、

以下の項目では、SMART Notebook ソフトウェアを初めて使用する際に必要な情報について説明します。

SMART Notebook ソフトウェアのインストール	30
フローティングツール ツールバーを使用する、クリック、書き込み、 消去などの操作.....	32
クリック (マウスモード)	33
書き込み	33
消去	34
テキスト追加にオン・スクリーンキーボードを使用する	34
フローティングツール ツールバーのカスタム化.....	35
SMART Notebook を使用して、メモキャプチャ、 プレゼンテーションを作成する	36
メモや絵のキャプチャ	36
SMART Notebook ファイルの作成、管理、プレゼンテーション	37
サイドタブ	37
スクリーンの表示エリアを最大化する	38
手書き文字をテキストに変換する	38
ビデオの録画および再生、アプリケーションの表示、 プレゼンテーションの強化.....	39
レコーダー	39
ビデオプレーヤー	39
SMART Bridgit ソフトウェアを使用したインスタント会議	39

その他の SMART ツール	39
ソフトウェア アプリケーションに直接書き込む	40
詳細情報について	41

SMART Notebook ソフトウェアのインストール

SMART Notebook ソフトウェアにより、メモのキャプチャや SMART Notebook ファイルへの保存、あるいは、Ink Aware アプリケーションに直接書き込むことができます。SMART Notebook の豊富な機能には、SMART Board ツール、そして、さまざまなデジタルコンテンツが含まれます。

重要

- 付属品の CD から SMART Notebook ソフトウェアをインストールする前に、パソコンに現在インストールされている SMART Board ソフトウェアまたは SMART Notebook ソフトウェアの全てのバージョンを削除してから、パソコンを再起動します。ソフトウェアの削除方法が不明の場合には、システム管理者にお問合せください。
- 既存のギャラリーコンテンツを削除したくない場合には、ギャラリーを削除しないでください。

SMART Notebook を完全にインストールするためには、製品キーを入手してソフトウェアを有効にする必要があります。以下の手順に従って、製品キーを入手してください。

製品キーの入手手順

1. パソコンの Web ブラウザで <http://smarttech.com/nb10productkey/> を表示します。
2. SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードのシリアル番号を入力し、組織分類を選択してから、[次に進む] を押します。

注記

インタラクティブホワイトボードのシリアル番号は、61 ページをご参照ください。

3. 顧客情報フォームをすべて記入してください

SMART からあなた宛の e メールで製品キーをお知らせします。

注記

SMART ハードウェア製品を複数所有している場合、この手順は1つの製品に対してのみ実行し、各製品について行う必要はありません。同じ製品キーで所属する組織が所有する SMART Notebook を有効にしてください。

以下の手順に従って、SMART Notebook をインストールしてください。


SMART Notebook の インストール

1. 付属品の SMART Notebook CD をパソコンの CD ドライブに挿入します。
[SMART Notebook] ウィンドウが開きます。
 2. [SMART Notebook のインストール] を押してから、画面に表示された指示に従います。
 3. インストール中、SMART から通知された製品キーを入力します。
 4. インストールの完了後、[終了] を押します。
-

注記


インストール中に製品キーを入力しなかった場合には、以下の手順に従って、インストール後に SMART Notebook を有効にします。使用する前に、SMART Notebook を有効にする必要があります。

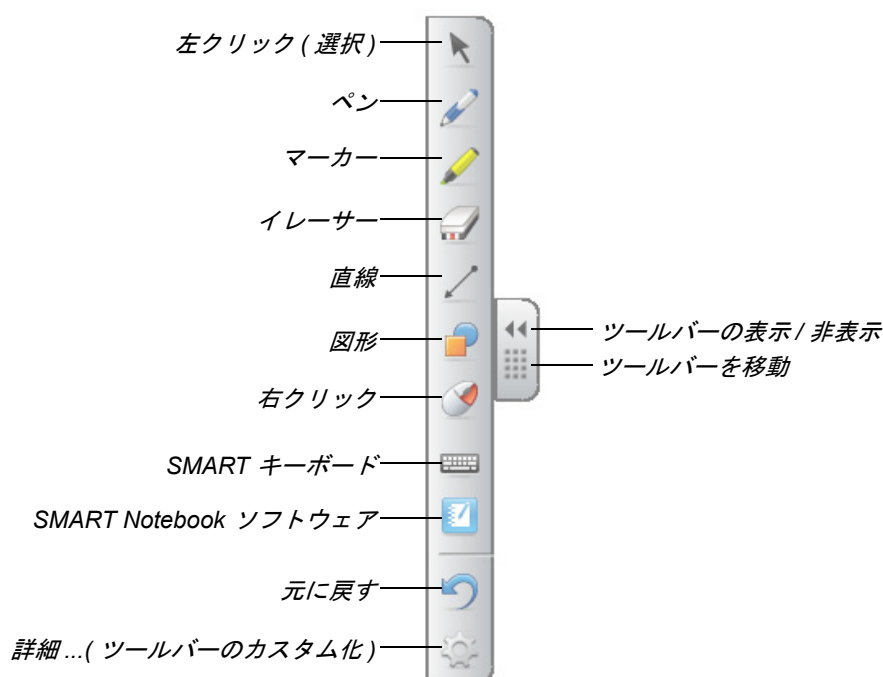
SMART Notebook の 有効化

1. Windows 通知エリアの **SMART Board** アイコン  SMART Board を押してから、[Notebook へようこそ] を選択します。
 2. [ヘルプ/サポート] タブを選択します。
 3. [ソフトウェアの有効化] を押します。
[SMART ソフトウェア有効化] ウィンドウが表示されます。
 4. スクリーンに表示される指示に従います。
-

フローティングツール ツールバーを使用する、クリック、書き込み、消去などの操作

インタラクティブホワイトボードを使用する際、フローティングツール ツールバーは、デスクトップおよび開かれているアプリケーションの上に表示されます。ペンを使用して、このカスタム化可能なツールバーからツールを選択して、インタラクティブホワイトボードで SMART Notebook のクリック、書き込み、消去、開くなどの操作を行います。

デフォルトのフローティングツール ツールバーを開き、Windows 通知エリアの **SMART Board** アイコンを押してから、**[フローティングツールの表示]**を押します。



注記

- フローティングツール ツールバーは、年少の学生などでも、操作できるように、スクリーンの下側に移動することもできます。
- ツールバーは、水平に回転させることはできません。

クリック (マウスモード)

SMART 製品ドライバを初めてインストールすると、SMART Notebook は、デフォルトの左クリック (またはマウス) モードになります。フローティングツール ツールバーに [左クリック] ボタンが表示されます。このボタンをペンで押しすと、SMART Notebook は、インタラクティブホワイトボードのスクリーン上のペンタッチをマウスの左クリックと動作として判断します。

インタラクティブホワイトボードのスクリーンでアプリケーションアイコンを1回または2回押して、ファイルを選択し開きます。ツールバーの [右クリック] ボタンを押して、インタラクティブホワイトボードのスクリーンで行う次のペンタッチを右クリックにします。

書き込み

フローティングツール ツールバーで [ペン] ボタンを押してから、ペンを使用してスクリーンにデジタルインクで書き始めます。[ペン] ボタン、他の書き込み、または描画ツールを押すと、境界線がデスクトップの周囲に表示され、上部右隅にあるメニューを利用できるようになります。この境界線は、インクレイヤーが配置されていること、そして、透明のシートに書き込むのと同じようにデスクトップに書き込めること、を示しています。

注記

書き込みまたは描画ツールを選択したときにインクレイヤーが表示されない場合には、Microsoft® Word、Excel®、PowerPoint® などの Ink Aware アプリケーションを使用していることが考えられます。Ink Aware アプリケーションに関する詳細については、40 ページをご参照ください。

性能を十分引き出すには、手のひらでカメラの視野を遮らないように、ペンをボード表面に対して垂直に持つようにしてください。ペンを斜めに持つと、書き込み結果は安定しません。書き込み中は、ボード表面に対する筆圧を一定に保つようにしてください。余分な線を書き込まないように、ひと筆ごとにスクリーンからペンを引き上げます。書き込み中は、インタラクティブホワイトボードの脇に立ち、自分の影が視聴者の視界を遮らないようにします。

インクレイヤーを閉じて、メモや図を削除し、[インクレイヤー] メニューの赤 × を押します。メモや図を復元するには、スクリーン下側右隅の [ここをクリックしてインクを復元] アイコンを押します。

消去

書き込みを消去するには、[イレーサー] ボタンを押してから、インタラクティブホワイトボードのディスプレイから削除したいマーキング箇所にペンを移動させてください。メモを消去するときには、選択したイレーサーツールを使用して、メモ部分を円で囲みます。それから、円の中心のスクリーンを押すと、円の内側のメモは消去されます。

イレーサーで消去される領域の大きさを変更するには、フローティングツール ツールバーで [イレーサー] ボタンを押してから、希望の大きさを選択します。



テキスト追加にオン・スクリーンキーボードを使用する

オン・スクリーンキーボードを開くには、[SMART キーボード] ボタンを押します。このキーボードを使用して、パソコンのキーボードを使用するためにインタラクティブホワイトボードから離れることなく、アプリケーションまたはダイアログボックスにテキストを追加することができます。

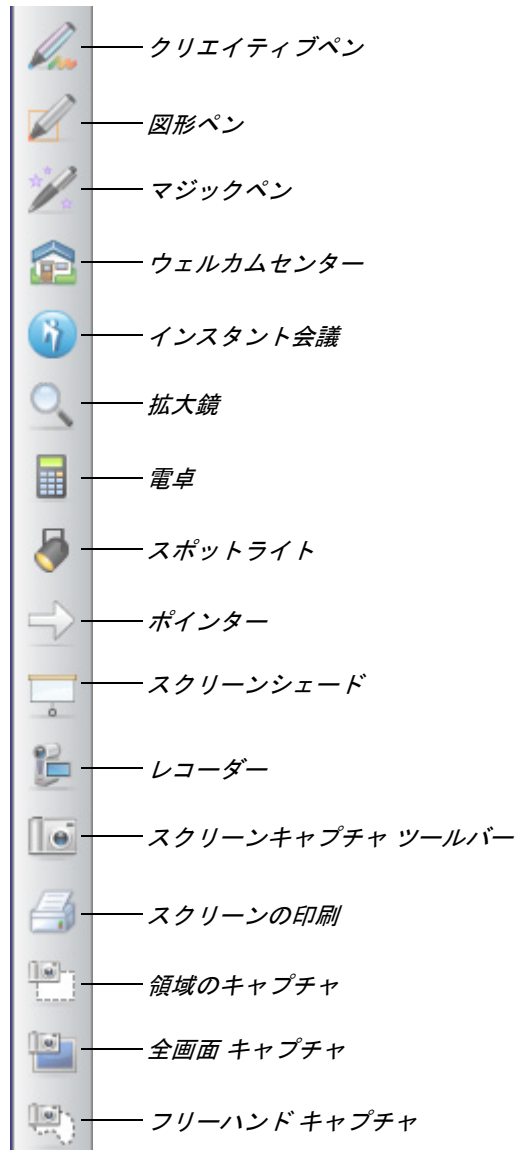
キーボードのスタイルを選択するには、キーボードの [矢印] を押します。デフォルトのスタイルは、クラシックキーボードです。標準のパソコンのキーボードと同様です。アプリケーションに情報を送信する前に、[プレビュー] ペインを開き、すべての文字または文章を入力できるようにするためには、上部右隅の [矢印] ボタンを押します。入力を終えたら、[送信] を押します。



フローティングツール ツールバーのカスタム化

さまざまなツールバーボタンから選択するには、フローティングツール ツールバーで**[カスタム化]** ボタンを押します。項目をツールバーへ、あるいは、ツールバーからドラッグして追加または削除します。希望する数のボタンを追加または削除して、必要なボタンでフローティングツールを完全にカスタム化します。1つのデフォルトのツールセットを作り直すには、**[デフォルトを復元]** を押します。

以下は、追加できるボタンの一例です：

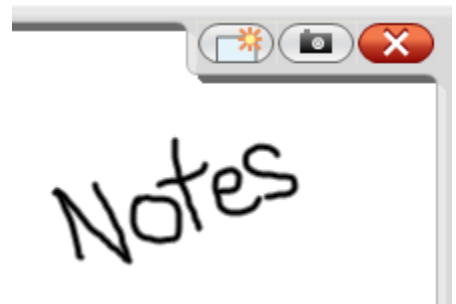


SMART Notebook を使用して、メモをキャプチャし、プレゼンテーションを作成する

SMART Notebook を使用して、カラフルなクリップアート、Adobe® Flash® オブジェクト、グラフィック、テキストなどを使用して、魅力あるインタラクティブのレッスンアクティビティやプレゼンテーションを作成してください。

メモや絵のキャプチャ

書き込みが終わったら、[インクレイヤー] メニューのカメラアイコンを選択して、SMART Notebook ページにメモをキャプチャしてください。新しい SMART Notebook ページが自動的に開きます。キャプチャした画像を確認するには、タスクバーから [保存されていない SMART Notebook(.notebook) ファイル] を選択します。



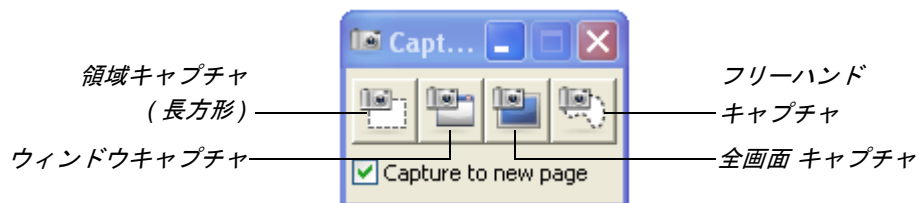
[ファイル] > [保存] を選択し、確認用にメモを保存します。

デジタルインクレイヤー

注記

インクレイヤーを右クリックし、[インクレイヤー設定] を選択して、デジタルインクレイヤーのプリファレンスを変更可能です。


メモや絵を SMART Notebook ページにキャプチャするためのオプション表示をするには、フローティングツールのスクリーンキャプチャ ツールバーを押します。スクリーンキャプチャを新しいページに表示することを指定するには、[新しいページのキャプチャ] を選択します。



デスクトップの領域をキャプチャする

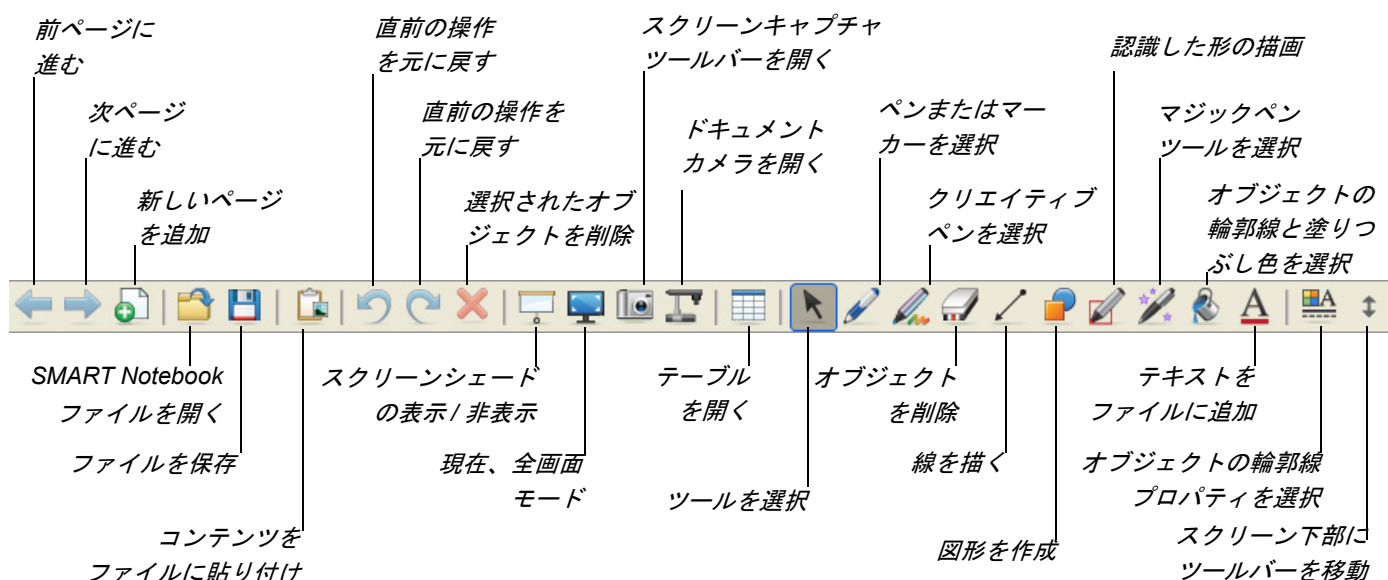
1. [領域キャプチャ] ボタンを押します。
領域キャプチャツールが表示されます。
2. キャプチャしたいエリアの隅を押してから、ペンをドラッグさせて、選択ボックスでエリア全体を囲みます。
3. スクリーンからペンを持ち上げます。
領域キャプチャツールは、新しい SMART Notebook ページ (自動的に開く) のグラフィックとして選択をキャプチャします。
4. [ファイル] > [保存] を選択してファイルを保存します。

SMART Notebook ファイルの作成、管理、プレゼンテーション

SMART Notebook ページをまだ開いていない場合には、フローティングツール ツールバーの[SMART Notebook]ボタンを押して開くか、あるいは、Windows 通知エリアの **SMART Board** アイコンを押してから、**Notebook** を選択します。





SMART Notebook ソフトウェアにより、メモや絵を書いたり、他のアプリケーションからグラフィック、テキスト、クリップアート、さらにファイルごと、SMART Notebook ファイルにインポート可能です。

ページトップにあるツールバーからは、SMART Notebook ファイルで作業をする際に役立つすべてのボタンにアクセスすることができます。ここには、フローティングツール ツールバーと同じボタンの多くが含まれています。




サイドタブ

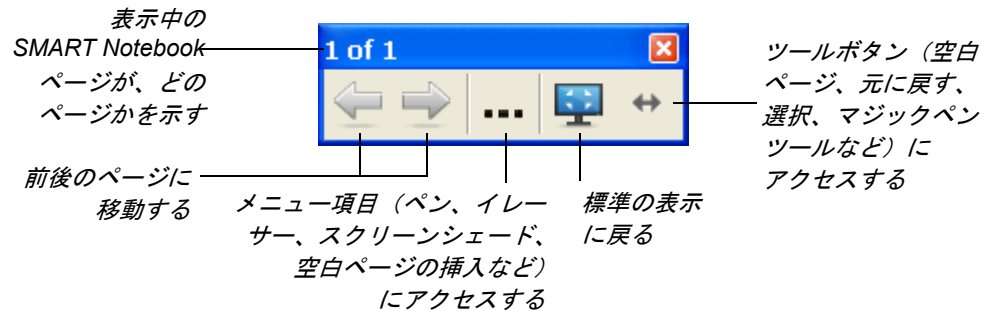
SMART Notebook ページには、以下のサイドタブがあります：

- ページソーター**  – SMART Notebook ファイルの各ページのサムネイル画像を表示します。
- ギャラリー**  – ギャラリーコレクションのカスタムページ、クリップアート、アニメーション、ビデオをファイルに追加します。
- 添付ファイル**  – 他のソフトウェア アプリケーションのハイパーリンクや添付ファイルをファイルに追加します。
- プロパティ**  – 塗りつぶし効果、色、手書きの記録の開始を追加します。

スクリーンの表示エリアを最大化する

スクリーンの表示エリアの最大化には、SMART Notebook ページトップのツールバー

の[全画面 ツールバー] ボタン  を押します。メニュー、タブ、タイトルバーが消えます。全画面 ツールバーを使用して、プレゼンテーションを移動し、メニューオプションにアクセスし、標準の表示に戻ります。



手書き文字をテキストに変換する

SMART Notebook ページにペンで書き込むには、[ペン] ボタンを押してから、ペン型を選択します。手書きテキストをテキストに変換するには、[左クリック(選択)] ボタンを押して、手書きテキストを選択してから、上部右側隅の文字オブジェクトのドロップダウンメニューから正しいテキストを選びます。

注記

また、このメニューは、ロックング、グループ化、裏返す、クローン作成を含む、オブジェクトの修正用オプションを提供します。さらに、オブジェクトのプロパティを変更することができます。

ビデオの録画および再生、アプリケーションの表示、プレゼンテーションの強化

ビデオの録画と再生、インターネット上で音声、ビデオ、データをシェア、そして、インタラクティブホワイトボードによるプレゼンテーションの強化に役立つツールを選ぶには、Windows 通知エリアの **SMART Board** アイコン  を押してから、以下で概説されたオプションの中から選択してください。

レコーダー

レコーダー機能では、インタラクティブホワイトボードで実行することすべて記録したビデオファイルを作成することができます。マイクロホンに接続して再生内容のナレーションを録音して、SMART Notebook ビデオプレーヤーまたは Windows Media® Player がインストールされたパソコンで録音を再生することができます。

ビデオプレーヤー

ビデオプレーヤー機能では、ビデオフレームに文字を書き込んだり、絵を描いて、メモを SMART Notebook ファイルにキャプチャすることができます。このアプリケーションを使用することで、パソコンに保存されているビデオファイルやカメラ、VCR、CD、DVD 等のコンテンツを再生することができます。SMART ビデオプレーヤーは、ほぼすべてのビデオやドキュメントカメラとの互換性を備えています。

SMART Bridgit™ ソフトウェアを使用したインスタント会議

SMART Bridgit ソフトウェアは、デスクトップのアプリケーションや情報を世界中の人とシェアすることを可能にします。会議の参加者に e メールで連絡をするだけで、参加者のデスクトップの交替を簡単にコントロールします。

その他の SMART ツール

スクリーンシェード

スクリーンシェードツールは、聴衆または生徒に対して、情報などを段階的に見せます。

スポットライト

スポットライトツールは、スクリーンの特定の部分に聴衆の焦点を合わせる手助けをします。

拡大鏡

拡大鏡ツールは、例えば、部屋の後ろ側にいる人にも見えるように、スプレッドシートのセルやインターネットアドレスなど、インタラクティブホワイトボードのスクリーンの一部のエリアを選択し、拡大表示します。

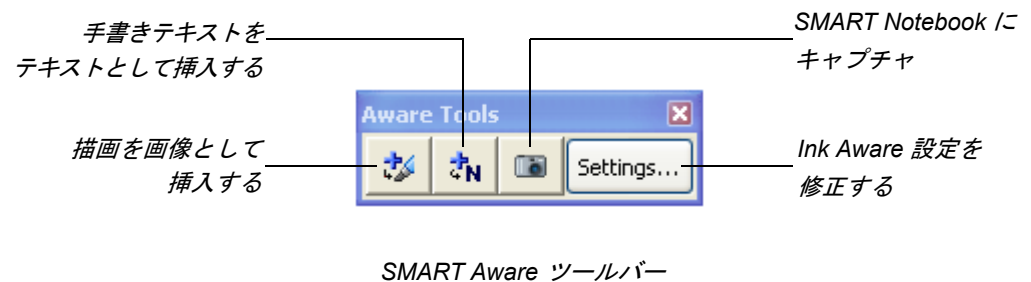
ソフトウェア アプリケーションに 直接書き込む

ソフトウェアが Ink Aware の場合、アクティブなファイルに文字や絵を直接書き込むことができます。そのメモは、次回そのファイルを開いたときに表示されます。フローティングツール ツールバーから文字や絵を直接書き込むツールを選ぶときに、デジタルインクレイヤーが表示されない場合には、Ink Aware アプリケーションで操作中のことがありますのでご確認ください。

Ink Aware ソフトウェア アプリケーションには以下が含まれています：

Microsoft Office	Microsoft Word、Excel、PowerPoint ソフトウェア
グラフィック アプリケーション	CorelDRAW®、Microsoft Imaging、Corel® Grafigo™ 2、 Microsoft ペイント
プレゼンテーション アプリケーション	PowerPoint、Corel Presentations™、Microsoft Office Live Meeting、Microsoft NetMeeting 3
その他のアプリケーション	AutoCAD®, VoloView Express™、AutoVue™ Professional、Microsoft Windows Journal、Microsoft Office OneNote®, Microsoft Visio®, Adobe Acrobat® Professional 6.0

Ink Aware アプリケーションでは、[インクレイヤー] メニューに似たオプションがアプリケーション独自のツールバー、または、フローティングツール ツールバーに表示されます。



詳細情報について

SMART Notebook ヘルプセンターには、手順、コンセプト、アプリケーションのヘルプ、ツールの説明、トラブルシューティングのヒントが含まれています。ヘルプセンターへは、Windows 通知エリアの **SMART Board** アイコン  からアクセスしてください。

その他の情報については、<http://www2.smarttech.com/st/en-US/Country/> へ進み、該当する国名をお選びください。このサイトのサポートセクションでは、セットアップ手順および仕様を含む、最新の製品別の情報をご覧いただけます。さらに、このウェブサイトの [トレーニングセンター](#) には、無料の学習リソース、実践レッスン、さらにトレーニング方法に関する情報があります。

第 5 章

メンテナンスと トラブルシューティング

本章では、

以下の項目では、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードのメンテナンスおよびトラブルシューティングについて説明します。

トラブルを防ぐためのヒント	44
教師が安全に使用するためのヒント	44
SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの ボード表面の損傷防止	45
インタラクティブホワイトボードのクリーニング	45
一般的なトラブルシューティング	47
投影される画像の調整	47
インタラクティブホワイトボードのリセット	48
トラブルシューティングのヒント	48
インタラクティブホワイトボードの輸送	60
SMART 技術サポートへの問い合わせ	61

トラブルを防ぐためのヒント

- オペレーティングシステムによって認識された高速 USB 2.0 パソコンインターフェース（他のアプリケーションで使用されていないこと）にSMART Board V280インタラクティブホワイトボードが接続されていることを確認してください。
- 各ペンのバッテリーが定期的に新しいものと交換されていることを確認してください。充電式バッテリーも使用可能です。バッテリー寿命が1時間未満になると、ペンのLEDライトは赤色になります。バッテリー寿命は、通常使用で約7週間です。SMART Board V280インタラクティブホワイトボードには、新しいバッテリーが2個、同梱されています。
- ペンチップ（コーン型）およびペン先は、すり減った場合には交換してください。ペン先が過度に摩耗した場合、書き込み中にペン内部のチップスイッチが作動しなくなり、ペンのLEDインジケータは点灯しなくなります。ペンチップおよびペン先の寿命は、通常使用で約25週間です。ラジオペンチを使用して、ペンチップおよびペン先を外してから、新しいペンチップおよびペン先を挿入してください。インタラクティブホワイトボードには、交換用のペンチップおよびペン先が4個、同梱されています。



教師が安全に使用するためのヒント

- 生徒に、プロジェクターから発せられる光線を直接見てはならないことを教えてください。また、ユーザに対して、インタラクティブホワイトボードの使用時には、常にプロジェクターが背後に来るように指導してください。そして、プロジェクターの光線から一歩下がってからクラスの方を振り向くようにしてください。
- プロジェクターから発せられる光線を直接見てはならないことを確かめます。プロジェクターの画像に書き込むときは、背中を生徒の方へ向けてください。生徒の方へ向き直すときは、先にインタラクティブホワイトボードの左右どちらかに寄ってください。
- プロジェクターは、通常の操作によって高温になりますので、触ってはならないことを生徒に教えてください。
- 生徒の手が届くようにと椅子を使用しないでください。学生が、壁面に取り付けられたインタラクティブホワイトボードのトップに手が届かない場合には、低い位置に取り付け直してください。

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの ボード表面の損傷防止

注意

- SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、速乾性の製品ではありません。速乾性マーカーまたは油性ペンは使用しないでください。
- インタラクティブホワイトボードには、強い化学薬品や研磨式の洗剤を使用しないでください。

SMART Board インタラクティブホワイトボードは、耐久性に優れています。しかし、スクリーンや製品のその他の部分が損傷しないように注意してください。

- 鋭い物や先のとがった物でスクリーンを傷つけないようにしてください。
- ボード表面は、接着テープを長期間貼りつけたままで放置しないでください。
- インタラクティブホワイトボードの設置には、ほこり、湿度、煙などが特に多い場所を避けてください。

インタラクティブホワイトボードの クリーニング

重要

- インタラクティブホワイトボードをクリーニングする前には、接続中のパソコンをシャットダウンするか、あるいは、接続を外してください。
- ごみや消し残りをよりよく確認できるよう、プロジェクターをスタンバイ（ランプを消す）モードにします。

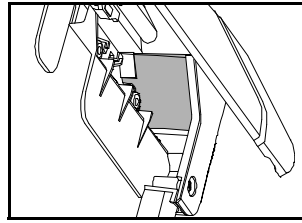
SMART Board インタラクティブホワイトボードは正しく使用すれば、長い間問題なくご利用いただくことができます。以上の点は、インタラクティブホワイトボードをきれいで良好な状態を保つためのヒントとして参考にしてください。

- ほこり、汚れ、指の油を取り除くときには、湿らした布またはスポンジでボード表面を拭いてください。必要に応じて、刺激の少ない石鹼を使用してください。
- インタラクティブホワイトボードに誤ってインクで書いた場合には、すぐにインクを拭き取ってください。ディスプレイ表面のインクを長い間、放置すると、消すことが難しくなりますのでご注意ください。
- インクの汚れを [Sanford ExpoR ホワイトボードクリーナー](#)（低臭気 of ホワイトボードクリーナーは使用しない）で塗り隠してから、紙タオルで表面をきれいに擦ります。

💡 ヒント

インクを拭き取るときには、Sanford Expo Dry Erase Board Doctor、Sanford Expo クリーニングシート、低臭気の Sanford Expo ホワイトボードクリーナー、または、Windex® ガラスクリーナーを使用しないでください。これらのクリーナーは、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードの表面のクリーニングには不適當であり、汚れを半永久的に残してしまいます。

- 万一、インタラクティブホワイトボード上にインクを長期間放置した場合には、Sanford Expo ホワイトボードクリーナーでインクを5分間ほど擦ります。完全に消すことはできませんが、プロジェクターの電源を入れて、使用するときには見え難くなります。
- しつこい汚れは、スクリーン表面を重曹と水を練ったもので優しく擦って取り除きます。
- バランス下のスクリーン両隅に備え付けられたデジタルカメラは、保護ウィンドウによってほこりと汚れがつかないようにしています。インタラクティブホワイトボードの設置場所が、特にほこりの多い環境の場合には、カメラウィンドウだけをクリーニングしてください。



- バランスをクリップをつけたまま、上側に回転させ、カメラウィンドウの傾斜した表面をクリーニングします。柔らかくきれいで湿らせた綿の布、または、綿棒でウィンドウを優しく擦ります。

▲ 注意

カメラウィンドウのクリーニングには、表面が傷つくことがあるため、研磨布または紙のタオルを使用しないでください。

一般的なトラブルシューティング

投影される画像の調整

プロジェクターの位置を固定していなければ、投影される画像がインタラクティブホワイトボードのスクリーンにぴったり収まるようにプロジェクターを移動させることで、多くの場合、画像に関する問題を解決できます。画像の各エッジは、だいたいインタラクティブホワイトボードのディスプレイ表面エッジまで、広がるようにしてください。このとき、投影される画像を表示するズームレンズを調節します。

i 注記

- 画像のサイズおよび形状は、プロジェクターのスプラッシュスクリーンに基づいて調節しないでください。スプラッシュスクリーンの画像は、パソコンに投影される画像よりもずっと小さいからです。投影される画像を調節する前に、パソコンの解像度およびリフレッシュレートの設定を確認してください（24ページを参照）。
- 必要な場合にのみ、以下の手順を完了させてください。
- 投影される画像がボード表面全体に適切に表示されるように調節できない場合、そして、インタラクティブホワイトボードの調整が難しい場合には、「*向きの調整手順が最初の点で停止し、次の点に進めない。*」52ページをご参照ください。

投影される画像の調節

1. 投影される画像の左右のエッジが平行でない場合には、エッジが平行になるまでプロジェクターを前後や上下に移動します。
2. 上下のエッジが平行でない場合には、エッジが平行になるまでプロジェクターをゆっくり回します。
3. 投影される画像が最適な状態になるまで、プロジェクターを少しずつゆっくりと調節してください。
 - プロジェクターのプラットフォームまたはスタンドの高さと位置を調節して、画像の縦と横の位置を修正します。
 - プロジェクターを左右へスライドさせて、画像を横方向に調節します。
 - プロジェクターを前後に移動させて、画像の大きさを増減して、スクリーン全体に適切に表示されるまで画像の大きさを調節します。
4. プロジェクターメーカー発行の説明書などに従って、画像の高さとサイズを微調整してください。

i 注記

投影される画像の変更手順は、プロジェクターによって異なります。詳細については、プロジェクターに添付の指示書をご参照ください。

5. プロジェクターの焦点機能を調節して、クリアな画像を作成してください。

インタラクティブホワイトボードのリセット

インタラクティブホワイトボードの動作が不安定だったり、反応しない場合には、恐らく、静電気放電や停電、あるいは、その他の事象によるものと考えられます。インタラクティブホワイトボードをリセットすることで、正常な操作に復元できる場合があります。

USBケーブルを外してから、再び接続して、インタラクティブホワイトボードをリセットします。この手順により、電源を切り、再び電源を入れます。インタラクティブホワイトボードの全構成部品が再起動します。カメラに保存された全データ（校正データを含む）が消えることはありません。

トラブルシューティングのヒント

本セクションでは、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードをご使用中に想定される問題の徴候、原因、解決策について説明します。

下表のトラブルシューティングのヒントを参考にいただければ、ご使用中に発生した問題のほとんどを手早く解決できます。

徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードを接続すると、パソコンが遅くなったり、応答を停止する。	パソコンは、インタラクティブホワイトボードのシステム最低要件を満たしていません。	<p>パソコンがインタラクティブホワイトボードのシステム最低要件を満たす、あるいは、超えていることを確認してください。</p> <p>インタラクティブホワイトボードのシステム必要条件については、文書 121618 www.smarttech.com/support をご参照ください。</p>
	あまりにも多くの外部周辺機器がパソコンに接続されているため、CPU への負荷が増加しています。	未使用の外部周辺機器を外します。

徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードのスクリーンに画像が投影されない、あるいは、「入力なし」のメッセージが表示される。	プロジェクターがビデオ信号を受信していない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオケーブルの接続を確認してください。 プロジェクターで正しいビデオ入力を選択されていることを確認してください。 プロジェクターの電源が入っていること、そして、電源に接続されていることを確認してください。 ラップトップパソコンを使用している場合には、外部ビデオ接続のスイッチを入れてください。詳細については、ラップトップパソコンのユーザーズマニュアルをご参照ください。
	パソコンはスタンバイモードに入っています。	マウスを動かす、あるいは、キーボードのキーにタッチして、スタンバイモードを終了させてください。
	パソコンの電源が入っていません。	パソコンの電源を入れて（あるいは、パソコンのリセットボタンを押して）から、通常通り、ログオンしてください。
投影される画像がぼやけている、大き過ぎる、あるいは、インタラクティブホワイトボードのスクリーン全体に適切に表示されない。	プロジェクターの位置、ズーム、焦点の設定が調節されていません。	プロジェクターの位置、ズーム、焦点の設定を調節してください。詳細については、プロジェクターの取扱説明書をご参照ください。
	パソコンのビデオ解像度の設定がプロジェクターのネイティブ解像度と一致していません。	プロジェクターの取扱説明書で適切なパソコンのビデオ解像度を調べてから、[スタート]>[コントロールパネル]>[ディスプレイ]を選択し、プロジェクターに適したビデオ解像度に変更してください。

注記

この手順は、Windows オペレーティングシステムのバージョンやシステム環境設定により異なります。

徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードには高速USB 2.0 準拠のパソコンが必要であることを伝えるメッセージが表示される。	パソコンが高速USB 2.0 に準拠していません。	パソコンを新しい高速USB 2.0準拠モデルに入れ替えてください。 インタラクティブホワイトボードのシステム必要条件については、 文書_121618 www.smarttech.com/support をご参照ください。

注記

この手順は、Windows オペレーティングシステムのバージョンやシステム環境設定により異なります。

パソコンが高速USB 2.0準拠かどうか確認する手順：

1. **【スタート】 > 【コントロールパネル】** を選択します。

【コントロールパネル】 ウィンドウが開きます。

2. **【システム】** をダブルクリックします。



【システムのプロパティ】 ウィンドウが開きます。


3. **【ハードウェア】** タブを選択してから、**【デバイスマネージャ】** を選択します。

【デバイスマネージャ】 ウィンドウが開きます。


4. **ユニバーサルシリアルバスコントローラー**を拡張します。

Intel® ICH8 Family USB2 Enhanced Host Controllerのように、リストされたコントローラーの名前に「Enhanced」が含まれていれば、ご使用中のパソコンは、高速 USB 2.0 準拠です。

徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードには高速 USB 2.0 準拠のパソコンが必要であることを伝えるメッセージが表示される。 (続き)	付属品の USB ケーブルがパソコンの高速 USB 2.0 準拠のポートに接続されていません。パソコンによっては、正面の USB ポートは高速 USB 2.0 準拠ではありません。	別な USB ポートでやり直してください。
接続中の機器は高速で動作可能であることを伝えるメッセージが表示される。このメッセージをクリックすると、インタラクティブホワイトボードを USB 2.0 準拠のポートに接続するよう求める別のメッセージが表示される。	あまりにも多くの機器がパソコンに接続されています。そのため、オペレーティングシステムは、インタラクティブホワイトボードの接続に enhanced ではないコントローラーを使用する必要があります。	余分な USB 機器を外して、確実にインタラクティブホワイトボードを enhanced ホストコントローラーに接続できるようにしてください。
		 重要 SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードは、パソコンに接続されているウェブカムに対応していません。インタラクティブホワイトボードまたはウェブカムのいずれかが確実に機能しません。
	付属品の USB ケーブルがパソコンの高速 USB 2.0 準拠のポートに接続されていません。パソコンによっては、正面の USB ポートは高速 USB 2.0 準拠ではありません。	別な USB ポートでやり直してください。
The SMART Board アイコン  が Windows 通知エリアに表示されません。	SMART Board ツールを実行していない。	SMART Board ツールを起動してください。 SMART Board ツールの起動手順： [スタート] > [すべてのプログラム] > SMART Technologies > [SMART製品ドライバ] > [SMART Board ツール] を選択します。
	SMART 製品ドライバがインストールされていません。	パソコンに SMART 製品ドライバをインストールしてください。 SMART 製品ドライバのインストールに関する詳細については、25 ページをご参照ください。


徴候	原因	解決法
向きの調整手順が最初の点で停止し、次の点に進めない。	<p>投影される画像がインタラクティブホワイトボードのボード表面全体に適切に表示されない。</p> <p>投影される画像がボード表面全体に適切に表示されている場合、SMART 製品ドライバの校正ソフトウェアは、各カメラの視界に最適化されています。投影される画像が小さすぎる場合、カメラの視界に最初の校正点が含まれていません。したがって、ソフトウェアがタッチポイントを検出できないため、向きの調整手順が停止しています。</p>	<p>プロジェクターをインタラクティブホワイトボードから離してから、投影される画像がボード表面全体に適切に表示されるように、プロジェクターのズーム機能を調節してから、向きの調整手順を繰り返してください。</p> <p>または</p> <p>投影される画像をインタラクティブホワイトボードのボード表面全体に適切に表示されるように調節できない場合には、以下の手順を実行してください：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows の通知エリアで、SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択します。 <p>SMART Notebook コントロールパネルが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. [SMART Hardware の設定] を選択します。 3. ドロップダウンメニューから、[校正/整列設定] を選択します。 4. [投影される画像が表示エリア全体に表示される] オプションをクリアします。 5. [適用] をクリックします。 6. [SMART 製品の校正/整列] をクリックします。 <p>校正画面が表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 向きの調整手順を実行します。



徴候	原因	解決法
ペンでタッチしても、インタラクティブホワイトボードのスクリーンが反応しない、ポイントの動きが不安定だったり、メモや絵を書いたときに間が空く、あるいは、スクリーンの下の方ではペンが正常に動作しない。	インタラクティブホワイトボードの向きを適切に調整していません。 部屋が明るすぎてインタラクティブホワイトボードのパフォーマンスに影響があります。	インタラクティブホワイトボードの向きを調整します インタラクティブホワイトボードの向きの調整に関する詳細については、26 ページをご参照ください。 ブラインドやカーテンを閉めるか、あるいは、ハロゲンやLEDの照明を消してください。
	SMART Board ツールを実行していません。	SMART Board ツールを起動してください。 [スタート] > [SMART Technologies] > [SMART Board ドライバ] > [SMART Board ツール] を選択してください。
	SMART 製品ドライバがインストールされていません。	SMART 製品ドライバがインストールされていません。 SMART 製品ドライバのインストールに関する詳細については、25 ページをご参照ください。
インタラクティブホワイトボードのスクリーン表面が湾曲しているため、インタラクティブホワイトボードのデジタルカメラからペンチップが見つけられなくなっています。		インタラクティブホワイトボードを壁に固定し、平らになっていることを確認してください。 詳細については、15 ページをご参照ください。 表面の湾曲のチェックに関する詳細については、see 文書 135276 www.smarttech.com/support をご参照ください。
使用中のパソコンで実行されているアプリケーションが多すぎる。		実行中のアプリケーションをいくつか閉じてください。
ラップトップ、パソコン、または、USB 延長ケーブルによる USB 電源が弱すぎるため、インタラクティブホワイトボードへの電源には不十分です。		ラップトップまたはパソコンを AC 電源プラグに接続してください。 または USB 延長ケーブルを外すか、あるいは、代替品に交換してください。 または powered USB ハブを設置してください。
パソコンは最低要件の仕様を満たしていません。		パソコンをアップグレードするか、あるいは、上位機種に変更してください。 インタラクティブホワイトボードのシステム必要条件については、 文書 121618 www.smarttech.com/support をご参照ください。


徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードに書き込むスピードが速いと、ペンストロークまたは文字の一部が欠落する。	インタラクティブホワイトボードのフレームレートの設定が低すぎることが原因として考えられます。	<p>インタラクティブホワイトボードのフレームレートの設定が低すぎるかどうかを判断するには、同じ単語を2度書いてください（最初は遅く、次は速く）。ストロークが遅いときには問題がなく、速いときに問題が出る場合には、フレームレートの設定が低すぎます。</p> <p>インタラクティブホワイトボードのフレームレートを上げる手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> Windows の通知エリアで、SMART Board アイコンを選択してから、[コントロールパネル] を選択します。 SMART Notebook コントロールパネルが開きます。 [ソフトウェアおよび製品サポートについて]>[ツール]>[診断] を選択します。 [SMART Board 診断] ウィンドウが開きます。 [表示] > [V200 Bar] を選択してから、[フレームレート] を選択します。 [フレームレート] ウィンドウが開きます。 スライダを 60 に移動してから、[OK] を選択します。 [フレームレート] と [V200 Bar] は自動的に終了します。 [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebook コントロールパネルを閉じます。



注記

手書きテキストを使用した場合には、この問題は生じません。

徴候	原因	解決法
インタラクティブホワイトボードで速く書き込むと、文字間に不要なつながった線が表示される。	<p>[範囲をダブルクリック] は、あなたの筆圧には大き過ぎます。インタラクティブホワイトボードは、あなたの筆圧をダブルクリックと誤って認識しています。</p>	<p>範囲をダブルクリックのサイズを小さくしてください。</p> <p>範囲をダブルクリックのサイズを小さくする手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows の通知エリアで、SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択します。 SMART Notebook コントロールパネルが開きます。 2. [SMART Hardware の設定] を選択します。 3. ドロップダウンメニューから、[マウス設定] を選択します。 4. 範囲をダブルクリックで、スライダを右から2番目の四角に移動します。 <p>[適用] を選択してから、[OK] を選択します。</p> <p>i 注記</p> <p>それでも線が表示される場合には、範囲をダブルクリックのサイズをさらに小さくします。ステップ 1～3 を繰り返してから、スライダをさらに右に移動させます。</p>

徴候	原因	解決法
SMART Board アイコン  に小さな赤の × が表示される。	SMART Notebook ソフトウェアが、インタラクティブホワイトボードを検出できない。	各カメラとインタラクティブホワイトボード後部の USB ハブを結ぶ延長ケーブルがしっかりと接続されていること、また、USB 2.0 ケーブルが USB ハブ (インタラクティブホワイトボード後部) とパソコンの両方に接続されていることを確認してください。
	付属品の USB ケーブルがパソコンの高速 USB 2.0 準拠のポートに接続されていないパソコンによっては、正面の USB ポートは高速 USB 2.0 準拠ではありません。	別な USB ポートでやり直してください。
	SMART Board サービスが実行されていません。	SMART Board サービスを起動してください。
		SMART Board サービスを起動する手順：
		1. Windows の通知エリアで、 SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択します。
		SMART Notebook コントロールパネルが開きます。
		2. [ソフトウェアおよび製品サポートについて] > [ツール] > [診断] を選択します。
		[SMART Board 診断] ウィンドウが開きます。
		3. [サービス] メニューを選択してから、[スタート] を選択します。
		4. [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebook コントロールパネルを閉じます。
	パソコンに接続されている高速 USB 機器が多すぎます。	ウェブカムまたは他の高速 USB 機器を外してください。

徴候	原因	解決法
SMART Board アイコン  に小さな赤の × が表示される。 (続き)	パソコンにインストールされているUSB CCID スマートカードドライバは、インタラクティブホワイトボードの USB ハブの Atmel® チップにアクセスできませんでした。	SMART Board サービスログをチェックして、USB CCID スマートカードドライバがAtmelチップへのアクセスに失敗したことを示すエラーの有無を確認してください。エラーがあった場合、USB ケーブルを一旦、外してから接続し直してください。
	i 注記 USB CCID スマートカードドライバは、インタラクティブホワイトボードの各カメラ (USB ハブに接続) からのデータを暗号化します。	SMART Board サービスログのチェック手順： <ol style="list-style-type: none"> Windows の通知エリアで、SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択してください。 SMART Notebook コントロールパネルが開きます。 [ソフトウェアおよび製品サポートについて] > [ツール] > [診断] を選択します。 [SMART Board 診断] ウィンドウが開きます。 SMART Board サービスログ ファイルを確認してください。以下のエラーが見つかった場合、USB CCID スマートカードドライバは Atmel チップへのアクセスに失敗しています： <pre>22: (4/22 10:13:23.114) - Error: The data necessary to complete this operation is not yet available. (0x8000000a). SBV280 init failed due to Smart Card not connected. Unplug and replug of usb cable might fix the error.</pre> [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebookコントロールパネルを閉じます。

徴候	原因	解決法
<p>小さな赤の × がカメラ調整データが失われた。SMART Board アイコン  に表示される。</p> <p>(続き)</p>		<p>レジストリからバックアップカメラデータを復元してください。</p> <p>バックアップカメラデータの復元手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows の通知エリアで、SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択します。 <p>SMART Notebook コントロールパネルが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. [ソフトウェアおよび製品サポートについて] > [ツール] > [診断] を選択します。 <p>[SMART Board 診断] ウィンドウが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [デフォルト] (または[カメラのデフォルトの復元]) を選択してカメラデータを復元します。 4. [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebookコントロールパネルを閉じます。 <p>i 注記</p> <p>接続ウィザードは、両方のカメラが検出されていても、インタラクティブホワイトボードが検出されていない場合に、[カメラのデフォルトの復元] ボタンを有効化します。</p>

徴候	原因	解決法
<p>小さな赤の × が SMART Board アイコン  に表示される。</p> <p>(続き)</p>		<p>SMART Board サービスを停止してから、再起動してください。</p> <p>SMART Board サービスを停止する手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows の通知エリアで、SMART Board アイコン  を選択してから、[コントロールパネル] を選択してください。 <p>SMART Notebook コントロールパネルが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. [ソフトウェアおよび製品サポートについて] > [ツール] > [診断] を選択します。 <p>[SMART Board 診断] ウィンドウが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [サービス] メニューを選択してから、[停止] を選択します。 4. [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebookコントロールパネルを閉じます。 <p>SMART Board サービスを起動する手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ステップ 1 および 2 を繰り返します。 2. [サービス] メニューを選択してから、[スタート] を選択します。 3. [SMART Board 診断] ウィンドウを閉じてから、SMART Notebookコントロールパネルを閉じます。 <p>パソコンを再起動します。</p>

徴候	原因	解決法
ペン先のチップスイッチをインタラクティブホワイトボードに押しつけても、指で押しても、ペンのLEDステータスライトが緑色に点灯しない。また、ペンでスクリーンにタッチしても応答がなく、デジタルインクで書き込みできない。	ペンのバッテリー残量が減少しているか、あるいは、残っていません。ペン先が摩耗している。長さ不足のため、ペン内部のスイッチを押せません。	古いバッテリーを新品、または再充電したものと交換してください。 ペンのバッテリー充電のチェックに関する詳細については、 文書 129600 www.smarttech.com/support をご参照ください。 ペン先およびペン先(コーン型)を交換してください。インタラクティブホワイトボードには、交換用のペンチップおよびペン先が4個、同梱されています。 ペン先のチェックおよび交換に関する詳細については、 文書 129600 www.smarttech.com/support をご参照ください。
	バッテリーの向きが逆向きになっています。	バッテリーを取り外してから、バッテリー室のイラストに従って挿入してください。

インタラクティブホワイトボードの輸送

SMART Board インタラクティブホワイトボードの納入時の梱包材は、インタラクティブホワイトボードの輸送が必要なときに備えて、保管しておいてください。必要に応じて、できるだけ納入時の梱包材でインタラクティブホワイトボードを梱包してください。納入時に使用される梱包材は、衝撃と振動を最適に保護するよう設計されています。納入時の梱包材を使用できない場合には、同じ梱包材を担当の [SMART 認定代理店](#) から直接ご購入いただけます。

SMART 技術サポートへの問い合わせ

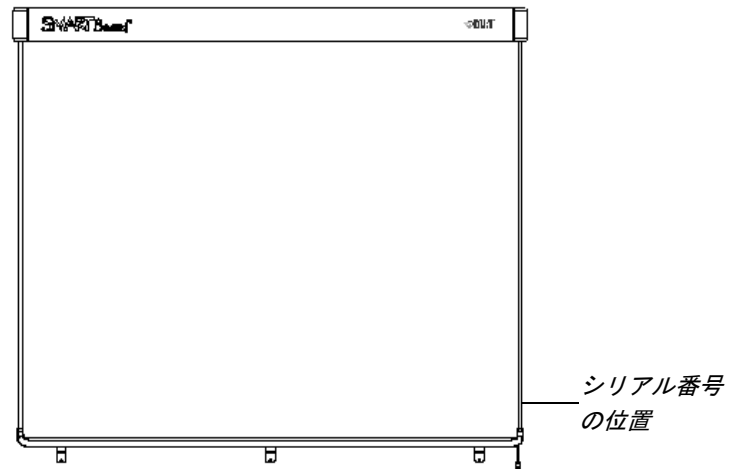
SMART 技術サポートではお問合せをお待ちしております。なお、SMART 製品に問題が発生した場合、まず担当の [SMART 認定代理店](#) にお問い合わせください。担当の認定代理店では、顧客情報に精通しており、問題解決をより迅速に勧めることができます。

SMART 技術サポートにご連絡いただいた際には、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードのシリアル番号を確認させていただきますので、お手数ですが予め本書（印刷した場合）の内表紙に記録しておいてください。

インタラクティブホワイト ボードのシリアル番号の 確認手順

シリアル番号は、インタラクティブホワイトボードの正面に向かって、インタラクティブホワイトボードのフレームの右下の縁に印刷されていますが、ペントレイの下にもあります。

シリアル番号は、インタラクティブホワイトボードの機種番号と一致するもので、フォーマットは、SBV280-xxxxxx です。

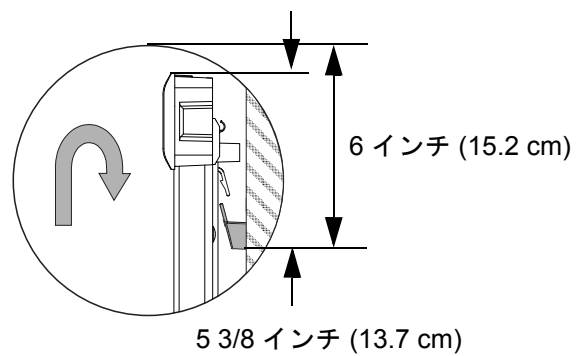


付録 A

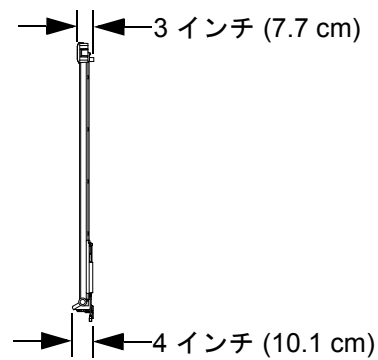
仕様図

壁面取付（横断面図）

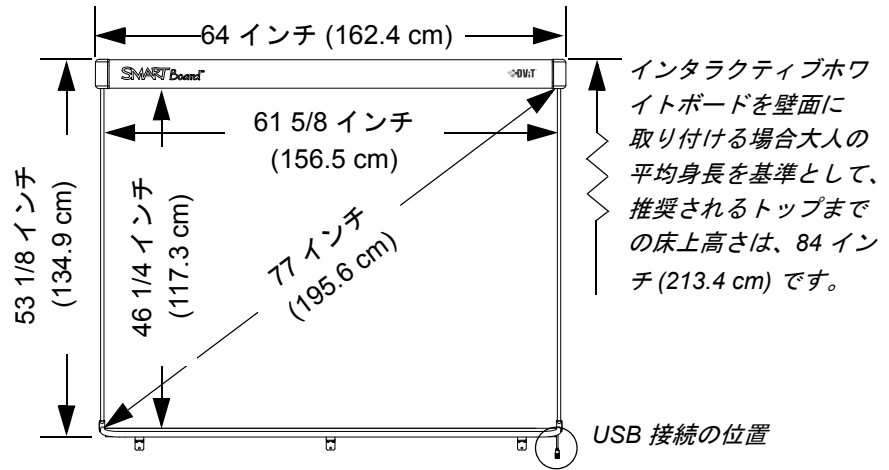
上部空間は最低5/8インチ(1.6 cm)残して、インタラクティブホワイトボードを壁面に取付けてください。



壁面取付（横から見たところ）



壁面取付（正面から見たところ）



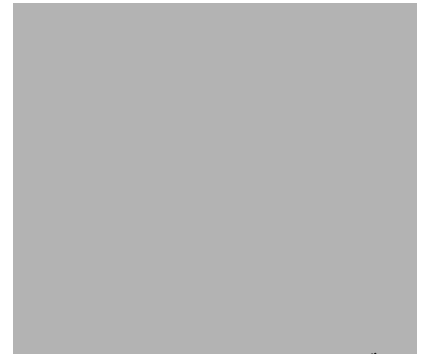
すべての面について ± 1/8 インチ (3.2 mm)

付録 B

USB 2.0 ケーブルを 延長する

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに同梱されている 16 フィート (5 m) の高速 USB 2.0 ケーブルは、最大長さについて USB 2.0 基準で定義された制限を満たしています。

ただし、この長さではパソコンとインタラクティブホワイトボードの接続には短い場合には、SMART Active USB 延長ケーブル (パーツ番号 USB-XT) などのバス電源ハブを使用することで、USB 接続をさらに 16 フィート (5 m) 延長することができます。このような延長接続によって、インタラクティブホワイトボードとパソコンの間は、最長で 32 フィート (10 m) まで伸ばすことができます。次ページの図をご参照ください。



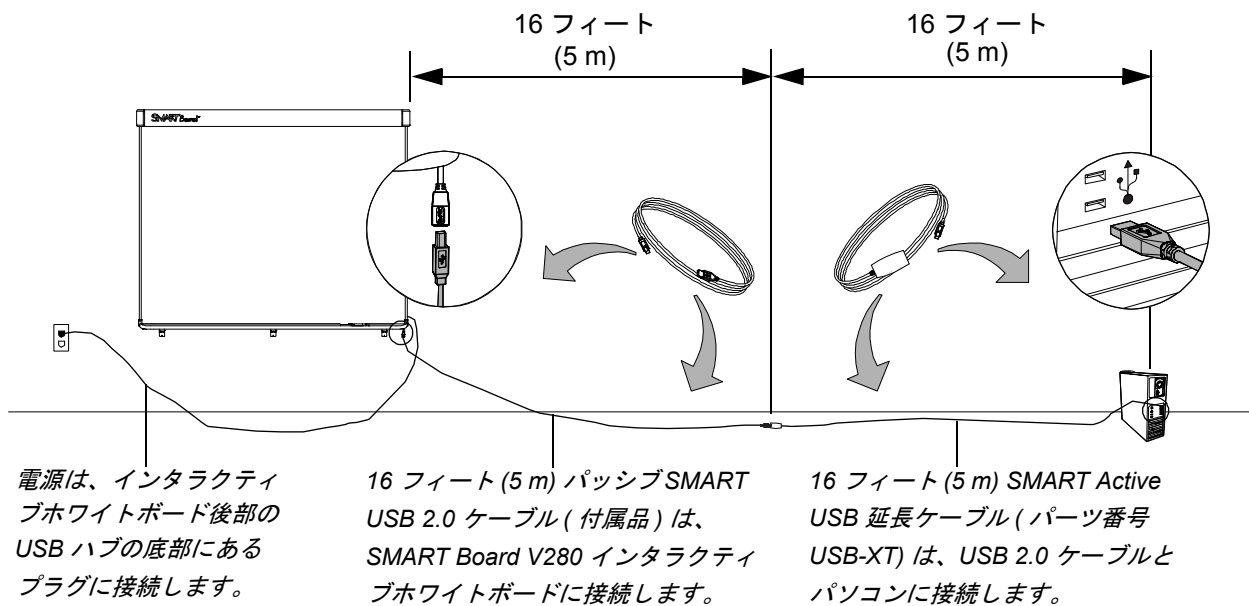
SMART Active USB 延長ケーブル
(SMART 部品番号 USB-XT)

重要

- SMART Active USB などの延長ケーブルをバス電源ハブを使用した場合には、SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに外部電源 (製品には含まれていません) を接続してください。この電源により、インタラクティブホワイトボードの操作に十分な電源が保証されます。
- パッシブ USB 延長ケーブルは、サポートしていません。(アクティブ機器には、USB 信号の再生成用の回路が組み込まれています)
- 外部電源 (必要時) は、CSA/UL/IEC/EN 60950-1 の有限電源 (Limited Power Source: LPS) 要件を満たさなければなりません。

この外部電源の仕様は、以下の条件に適合する必要があります。

仕様	パラメータ
電源	<ul style="list-style-type: none"> DC5.0V (電圧範囲 5% 以上) 電流 1.51.5 A(標準引き込み -500mA)
コネクタ	1/4 × 1/8 インチ (5.5 × 2.1 mm)、center positive 同軸コネクタ
海外サポート	入力 AC120 ~ 240V
認定およびコンプライアンス	CSA/UL/IEC/EN 60950-1 の有限電源 (Limited Power Source: LPS) 要件



インタラクティブホワイトボードとパソコンの USB 接続を延長する

付録 C

フロアスタンドに インタラクティブ ホワイトボードを 取り付ける

インタラクティブホワイトボードをフロアスタンドに 取り付ける前に

FSV280フロアスタンドにSMART Board V280インタラクティブホワイトボードを取り付ける前に、安全な操作と損傷防止の目的から以下の指示をよく読み、順守ください。

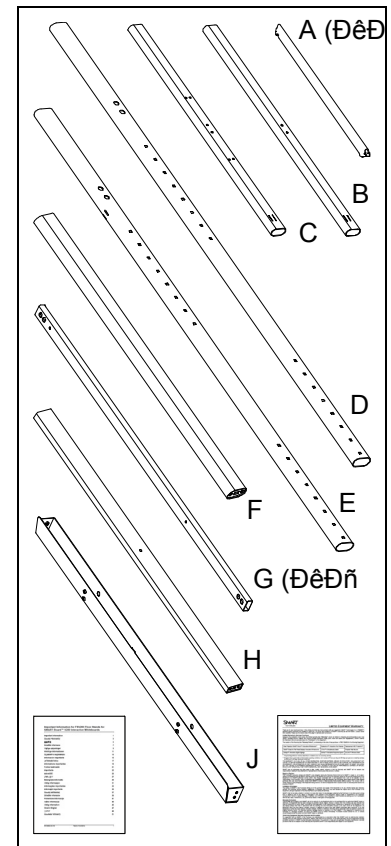
警告

- 壁面またはフロアスタンドにインタラクティブホワイトボードを設置する作業は、大き過ぎて1人では安全を確保できないため2人で実施してください。インタラクティブホワイトボードを持ち上げるときには、作業者がスクリーンの両側に立ち、片手で下側隅を支えながら、片手で上側のバランスを取ります。
- 電源や接続用のケーブルは、不適切な配置のまま放置されると、足に引っ掛けるなど思わぬ事故、損傷や故障の原因になりますので、配置には十分にご注意ください。床にケーブルを配線する場合は、ケーブルを平らにたるまないように置き、目立つ色のテープまたはケーブルストリップでケーブルを床に固定してください。ケーブルは注意深く取り扱い、引っばったり、曲げすぎないようにしてください。
- SMART Board V280インタラクティブホワイトボードは、FS670 またはFS570フロアスタンドには設置しないでください。これらのフロアスタンドは、インタラクティブホワイトボードを正確に安定を確保するための正式な固定機構を備えていません。これらのスタンドを使用すると作業者のケガや製品の損傷に至る場合があります。
- フロアスタンドに取り付けたインタラクティブホワイトボードの移動には、注意してください。急に停止したり、過大な力を加えたり、水平でない場所に置くと、インタラクティブホワイトボードが倒れる危険があります。

FSV280 フロアスタンドの輸送箱に入っているもの

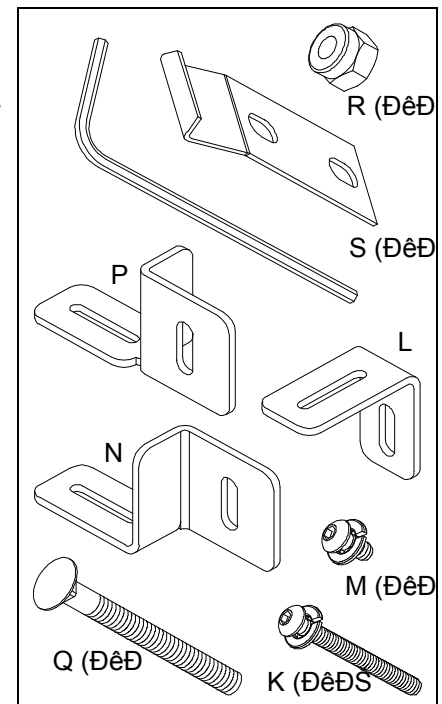
FSV280 フロアスタンドに同梱されている部品は、以下の通りです：

- アップライトブレース (2)(A)
- 左脚 (B)
- 右脚 (C)
- 左側アップライト (D)
- 右側アップライト (E)
- 底部クロスバー (F)
- サイド用フレームパーツ (2)(G)
- 下部フレームパーツ (H)
- 上部フレームパーツ (J)
- 1 年間の制限付き製品保証書
- 各言語による製品に関する重要な情報
- 図解による設置指示書 (図示なし)



さらに、以下に示す小型部品をまとめたハードウェアキット：

- 1 1/2 インチ (3.8 cm) ボタンヘッドネジ (スプリットワッシャー付) (各 16) (K)
- インタラクティブホワイトボード用センターサポートブラケット (L)
- 1/2 インチ (1.3 cm) ボタンヘッドネジ (スプリットワッシャー付) (各 5) (M)
- インタラクティブホワイトボード用右側サポートブラケット (N)
- インタラクティブホワイトボード用左側サポートブラケット (P)
- 根角ボルト (4) (Q)
- ロックナット (4) (R)
- セキュリティブラケット (2) (S)
- 5/32 インチ (4 mm) 六角キー



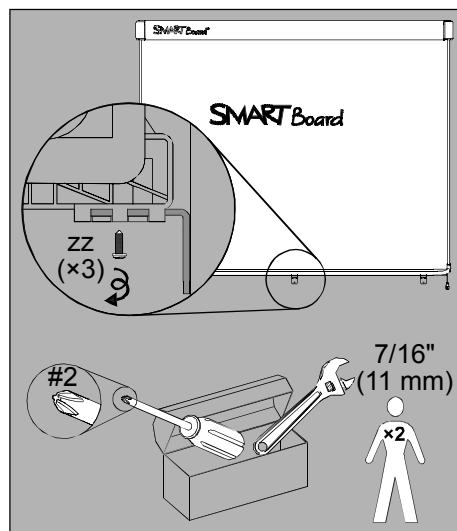
その他のツールおよび部品（ご用意いただく必要があります）

SMART Board インタラクティブホワイトボードをフロアスタンドに取り付けるときには、フロアスタンドには同梱されていませんので、以下のようなツールや部品をご用意いただく必要があります：

- Phillips® 2 番ドライバ
- 7/16 インチレンチ (11 mm)
- 小さなスレッドフォーミングネジ (3)
(SMART Board V280インタラクティブホワイトボードに付属)

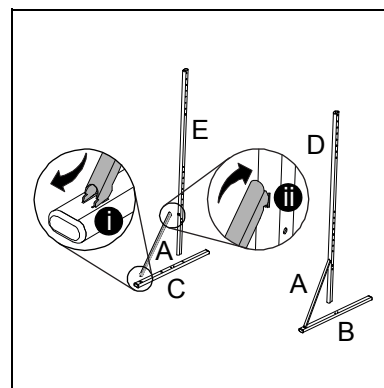
i 注記

インタラクティブホワイトボードをフロアスタンドに取り付ける作業は、2人で実施してください。

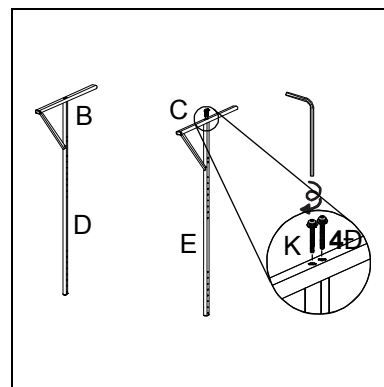


インタラクティブホワイトボードを FSV280 フロアスタンドに取り付ける手順

1. 図示の通り、両方のアップライトブレース(A)のとがっていない側の端部をそれぞれ、左脚と右脚(BとC)に差し込んでから、留め具(A)の反対側フック付き端部を左右のアップライト(DとE)に差し込みます。



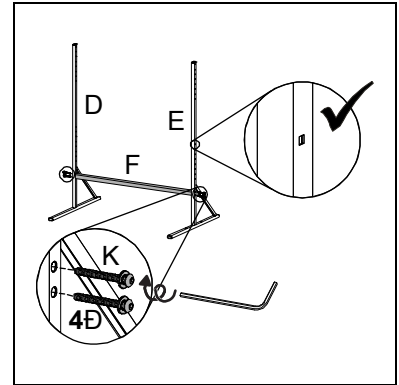
2. 各脚は、それぞれのアップライトに対して垂直になるように、整列させてから、2本の1 1/2インチ (3.8 cm) ボタンヘッドネジ(K)で固定します。ネジ締めには付属品の六角キーを使用してください。



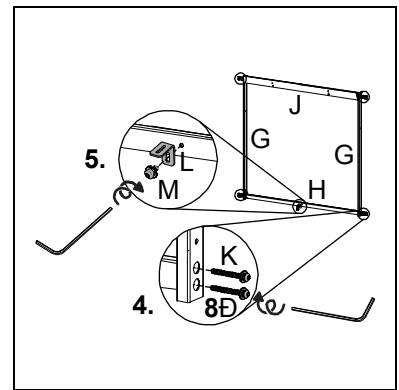
3. 底部クロスバー(F)をアップライト(DとE)に1 1/2 インチ (3.8 cm) ボタンヘッドネジ(K) で固定します。ネジ締めには付属品の六角キーを使用してください。

i 注記

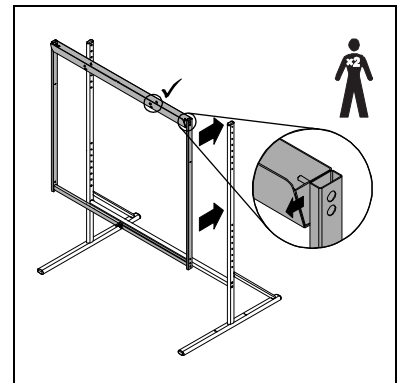
アップライト (D と E) の四角い穴は、外側に向くようにしてください。



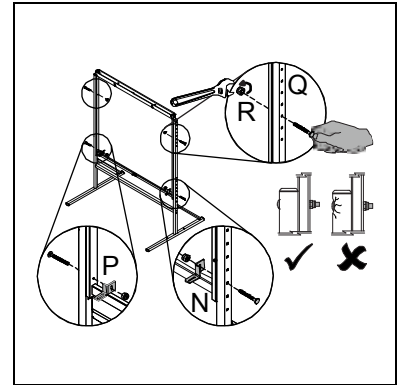
4. 図示の通り、2本の1 1/2 インチ (3.8 cm) ボタンヘッドネジ(K)で、両方の垂直フレームパーツ(G)を上部および下部のフレームパーツ(HとJ)に固定します。サイド用フレームパーツ(G)がフレームの外側になっていること、また、上部フレームパーツ(J)の角のあるタブ付き側と下部フレームパーツ(H)の中心穴がそれぞれ外側を向いていることを確認してください。ネジ締めには付属品の六角キーを使用してください。



5. 図示の通り、インタラクティブホワイトボード用サポートブラケット(L)は1/2インチ (1.3 cm) ボタンヘッドネジで下部フレームパーツ(H)の中心に留めます。ネジ締めには付属品の六角キーを使用してください。
6. このフレームをステップ 3 で完成したサポートアセンブリーの両方のアップライトの間に入れます。この作業は、2人で実施してください。

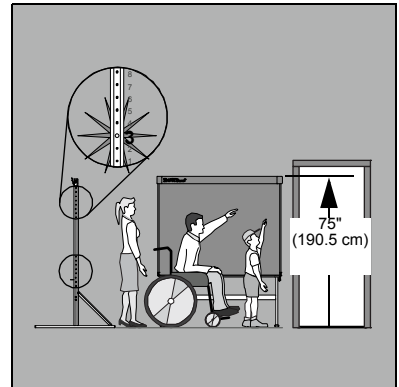


7. 図示の通り、4ヶ所で根角ボルト(Q)とロックナット(R)を使用して、フレームをアップライトサポートアッセンブリに留めます。低い場所の2ヶ所については、左右のインタラクティブホワイトボード用サポートブラケット(NとP)をロックナット(R)と左右のサイド用フレームパーツの間にに入れます。ロックナットは7/16 インチ (11 mm) レンチで締めてください。

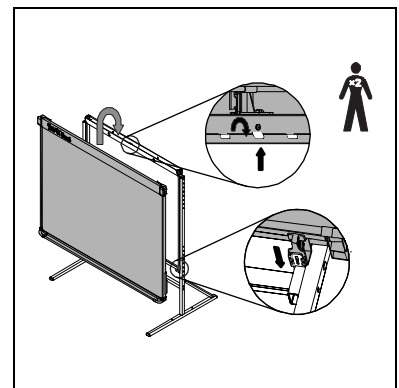


i 注記

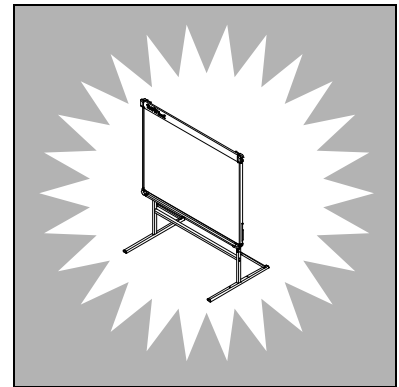
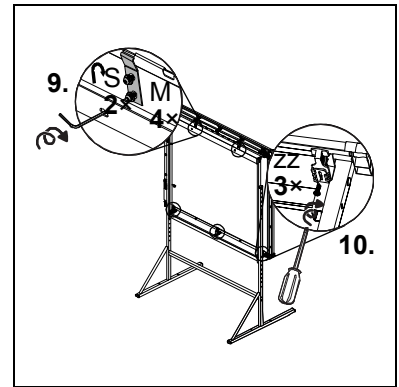
- ナットは、きつく締め過ぎないようにしてください。
- アップライトサポートアッセンブリの下から3番目の穴にフレームを固定すると、インタラクティブホワイトボードのトップまでの距離は、75 インチ (190.5 cm) となります。この場合、インタラクティブホワイトボードをフロアスタンドに取り付けたまま、80 インチ (2 m) の高さのドアを通ることができます。



8. SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードをフロアスタンドに取り付けます。フレームのトップにあるタブをインタラクティブホワイトボードの後ろ側にある壁面取付ブラケットのスロットに合わせるようにします。この作業は、2人で実施してください。フロアスタンド側の3個のインタラクティブホワイトボード用サポートブラケットをインタラクティブホワイトボードのペントレイ下の対応するブラケットに差し込みます。



9. 各セキュリティブラケット (S) をインタラクティブホワイトボード後部の壁面取付ブラケットにある2ヶ所の穴の上にある空のスロットに挿入します。スロットに挿入した後、1/2インチ(1.3 cm)ボタンヘッドネジ(M)で固定します。ネジ締めには付属品の六角キーを使用してください。
10. SMART Board V280 インタラクティブホワイトボードに同梱されているスレッドフォーミングネジ小(zz)で、3個のインタラクティブホワイトボード用サポートブラケットをそれぞれ、対応するペントレイブラケットに固定します。



付録 D

ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologies は、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

廃電気・電子機器に関する欧州連合の指令 (WEEE Directive ; ダブルトリプリー指令)

Waste Electrical and Electronic equipment regulations; 廃電気・電子製品に関する欧州連合の指令は、欧州連合内で販売されたすべての電気・電子機器に適用されます。

SMART Technologies 製品を含む、あらゆる電気・電子機器を廃棄する場合には、耐久寿命に達した電子機器の適切なリサイクルを強くお願いしています。詳細情報およびリサイクル機関の連絡先については、認定代理店または SMART Technologies までお問い合わせください。

電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限 (RoHS Directive ; RoHS 指令)

本製品は、欧州連合の Restriction of Certain Hazardous Substances; 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限(RoHS)に関する指令 2002/95/EC の条項に適合するものです。

したがって、本製品は、各地で取り上げられ、欧州連合の RoHS 指令を基準とするその他規制にも準拠します。

バッテリー

バッテリーは、多くの国々で規制されています。認定代理店にご相談の上、使用済みバッテリーの再利用方法をご確認ください。

リチウムイオン電池を含む製品、または、リチウムイオン電池の配送時には、順守しなければならない特別規制があります。リチウムイオン電池を含む SMART Technologies 製品またはリチウムイオン電池を返送する場合には、SMART Technologies に以下の特別配送規制についてお問合せください：

- 1.866.518.6791、オプション 4 (米国 / カナダ)
- 1.403.228.5940 (カナダ / 米国以外の国)

梱包

多くの国々において、製品の梱包材に一定の重金属の使用を制限する規制があります。製品の出荷用に SMART Technologies が使用する梱包材は、該当するパッケージングに関する法律に準じています。

特定電子機器

米国の多くの州において、モニターは、特定電子機器として分類され、その処理を規制しています。該当する SMART Technologies 製品は、特定電子機器指令の条件に準じています。

中国の電子情報製品 規制

中国は、EIP(Electronic Information Products; 電子情報製品)として分類される製品を規制しています。SMART Technologies 製品は、この分類に入り、中国電子情報製品規制の条件に準じています。

米国消費材安全性改善法

米国では、子供が使用する製品に含まれる鉛 (Pb) 含量を制限する Consumer Product Safety Improvement Act; 消費材安全性改善法が施行されています。SMART Technologies は、このイニシアチブへの準拠に尽力しています。

カリフォルニア州大気資源局一合板製品からのホルムアルデヒド排出規制

カリフォルニア州では、合板製品からのホルムアルデヒドの排出を制限する法律を制定しました。合板製品を含む SMART Technologies 製品は、この法律に準じています。

付録 E

カスタマサポート

オンライン情報およびサポート

www.smarttech.com/support をご覧の上、ユーザーズマニュアル、ハウツーやトラブルシューティング関連の記述、ソフトウェアなどをダウンロードしてください。

トレーニング

トレーニング資料およびトレーニングサービスに関する情報については、www.smarttech.com/trainingcenter をご参照ください。

技術サポート

SMART 製品に問題が発生した場合には、SMART 技術サポートへのご連絡前に、まず担当の認定代理店にお問合せください。担当の認定代理店では、顧客情報に精通しており、問題解決をより迅速に勧めることができます。

注記

担当の認定代理店については、www2.smarttech.com/st/en-US/Where+to+Buy をご参照ください。

すべての SMART 製品では、オンライン、ファックス、および e メールサポートが利用できます：

オンライン	www.smarttech.com/contactsupport
電話	+1.403.228.5940 または フリーダイヤル 1.866.518.6791 (米国、カナダ国内のみ) (月曜日から金曜日の午前 5 時～午後 6 時カナダ山地標準時)
ファックス	+1.403.806.1256
メール	support@smarttech.com

配送および修理状況

輸送中の損傷、紛失部品、修理状況などについては、SMART の商品返品許可 (RMA) グループ、オプション 4、+1.866.518.6791 にお問合せください。

一般的な質問

所在地	SMART Technologies 3636 Research Road NW Calgary, AB T2L 1Y1 CANADA
代表電話	+1.403.245.0333 または フリーダイヤル 1.888.42.SMART (米国、カナダ国内のみ)
ファックス	+1.403.228.2500
メール	info@smarttech.com

保証

製品保証は、購入時の SMART 製品に同梱された SMART の「制限付き保証」の条項に準拠するものとします。

ご登録

お客様へよりよいサービスの提供を可能にするため、www.smarttech.com/registration でオンライン登録を行ってください。

索引

B

Bridgit 会議ソフトウェア, 39

E

EIP 規制, 74

N

Notebook ソフトウェア, 2, 3, 30
グラフィック / テキスト / ファイルのインポート, 37
サイドタブ, 37
プレゼンテーション, 36
メモや絵のキャプチャ, 36
手書きテキストをテキストに変換する, 38
全画面表示, 38

R

RoHS 指令, 73

S

SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード
リセット, 48
SMART Board ソフトウェア, 3
Ink Aware アプリケーション, 40
インストール, 25
オンライン リソース, 41
クリック (マウスモード), 33
フローティングツール, 32
SMART へのお問い合わせ
オンライン リソース, 41
SMART 技術サポート, 75
SMART へのお問い合わせ, 60, 61

U

USB

ケーブル, 7, 22
USB 2.0 対応インターフェース, 2, 22, 44
USB 延長ケーブル, 8
USB ケーブルを接続する, 22

W

WEEE 指令, 73

あ行

アクセサリ, 7
USB 2.0 ケーブル, 7
USB 延長ケーブル, 8
フロアスタンド, 7, 11
ペン, 7
アスペクト比, 2
クリーニング
インクの消去, 45
インストール
SMART Board ソフトウェア, 25
プロジェクター
インタラクティブホワイトボードの位置合わせ, 15
インタラクティブホワイトボードとプロジェクターの位置を合わせる, 15
コンピュータ
インタラクティブホワイトボードに接続する, 21
インタラクティブホワイトボードの盗難防止, 19
SMART Board ソフトウェア
インタラクティブホワイトボードの向きを調整する, 26
インタラクティブホワイトボードのリセット, 48

USB

延長ケーブル, 8, 23
 欧州連合の規制, 73-??
 お問合せ窓口, 76
 大人, 11
 オンライン リソース, 41
 オンラインサポート, 75

か行

プロジェクター
 解像度, 24
 コンピュータ
 解像度をプロジェクターに合わせる, 24, 47
 SMART Board ソフトウェア
 概要, 29
 カスタマサポート, 75-76
 フローティングツール
 カスタム化, 35
 プロジェクター
 画像の調整, 47
 カメラ
 クリーニング, 46
 カリフォルニア州大気資源局, 74
 環境条件, 10

 技術サポート, 60, 61
 技術サポート, 60, 61, 75
 組立品質, 10
 クリーニング, 45
 煙, 45
 ケンジントンロック, 17, 19
 交換部品, 7, 8
 合板製品からのホルムアルデヒド排出規制, 74
 ご注文, 60
 ご登録, 76

 子供, 11
 コンクリート壁, 12, 14, 16
 コンクリート壁への設置, 12, 14, 16
 コンピュータ
 リフレッシュレート, 24, 47
 梱包, 74

さ行

サポート, 75-76
 コンピュータ
 システム最低要件, 4
 湿度, 10, 45
 質問, 76
 仕様, 63
 ペン
 使用する, 28
 シリアル番号, 61
 コンピュータ
 推奨設定値, 24
 制限付き保証, 76
 静電放電, 10
 精度, 27
 設置, 11, 12, 14, 16, 18, 21, 22
 設置高さ, 11
 操作温度, 10
 SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード
 操作方法について, 3
 SMART Board ソフトウェア
 その他のツール, 39
 損傷、防止, 45

た行

耐水性および液体抵抗, 10
 中国の規制, 74
 SMART Board ソフトウェア
 デジタルインクで書き込む, 33
 デジタルインクの消去, 34
 デジタルビジョンタッチ (DViT) テクノロジー, 2
 投影される画像の調整, 47
 SMART Board V280 インタラクティブホワイトボード
 特徴, 2
 特定電子機器, 74
 トラブルシューティング, 43
 トラブルシューティング関連の記述, 75
 トレーニング, 75

な行

燃焼性, 10

は行

ハードウェア環境コンプライアンス, 73–74

排出量, 10

場所, 11

パソコンに接続する, 21

バッテリー, 74

ペン

バッテリーを入れる, 18

クリーニング

バランスの下側, 46

部品、アクセサリ, 7

フロアスタンド, 7, 11

SMART Board ソフトウェア

フローティングツールのカスタム化, 35

プロジェクター

スタンバイモード, 24

文書, 75

米国の規制, 74

壁面取付用キット, 7

アクセサリ

壁面取付用キット, 7

ペン, 7

LED ライト, 18

ペン先およびペンチップ, 44, 7, 44

ペン用バッテリー, 18

方向, 26

ほこり, 10, 45

保証, 76

ま行

向き, 27

メンテナンス, 43

や行

ユーザーズマニュアル, 75

輸送, 60

輸送箱, 60

ら行

リチウムイオン電池, 74

わ行

一般的な質問, 76

解像度

コンピュータ, 24, 47

プロジェクター, 24

環境コンプライアンス、ハードウェア環

境コンプライアンスを参照

規制コンプライアンス、ハードウェア環

境コンプライアンスを参照

交換部品, 7

USB 2.0 ケーブル, 7

フロアスタンド, 7, 11

ペン, 7

消費材安全性改善法, 74

設置

ツール, 12

米国の規制, 74



フリーダイヤル 1.866.518.6791
(米国、カナダ国内のみ)
または、+1.403.228.5940
www.smarttech.com